

仮置場設置・運営訓練等の実施・運営に係る支援

1. 業務概要

1.1 業務の目的と概要

近畿ブロック管内の自治体を実施する災害廃棄物仮置場や集積所の設置、運営等に伴う演習、またはワークショップ及び実地訓練（以下「訓練等」という。）について、その実施や運営を支援した。

本業務の実施に当たっては、担当官と協議のうえ、訓練等の実施要領を作成し、近畿ブロック管内の府県及び政令市・中核市等の市町村を対象に本実施要領に基づく訓練等の実施方法・内容について提案募集を行い、応募自治体の提案内容等を踏まえて、担当官と協議のうえ、5団体（複数の自治体等による共同実施を含む）を選定した。なお、政令市・中核市以外の市町村は府県を通じて募集した。

1団体（1回）当たりの訓練等は演習等2時間、実地訓練2時間程度とし、仮置場の設置・運営等に必要となる一連の業務を模擬体験できる内容とした。訓練等の実施団体は、実施要領や提案内容等に基づき、実地訓練を行う仮置場候補地について調整・用意し、受託者は実施団体や担当官と調整の上、演習等の会場の手配、当日の運営を支援したほか、訓練等に用いる資料・資材等を準備した。実地訓練で使用する車両は団体等の所有する車両を活用した。訓練で使用した廃棄物は廃棄物の種別が判る張り紙をした段ボール箱等を用意した。

1.2 参加団体募集及び標準形訓練等実施要領作成

訓練参加団体の募集にあたり、担当官と協議のうえ、全体の標準形となる訓練等の実施要領を作成した。作成した実施要領に基づく訓練等の実施方法・内容について近畿ブロック管内の府県及び政令市・中核市等の市町村を対象に提案募集を行った。応募団体の提案内容等を踏まえて、担当官と協議のうえ訓練を実施する5団体を選定した。選定した団体と提案内容を図表 1-1 に、作成した標準形となる実施要領を図表 1-2 に示す。本業務では、比較的大規模な「仮置場」の設置・運営に加えて、小規模な「集積所」の設置・運営を訓練の対象として設定し、希望する団体を募った。

図表 1-1 応募団体と提案内容

団体	参加自治体	希望する訓練パターン	応募団体の提案内容
京都府 福知山市	福知山市	集積所と 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市では、災害廃棄物処理計画及び災害廃棄物処理マニュアルを作成し、災害廃棄物の収集・処分等に係る処理フロー及び業務分担を定めている。 ・併せて、廃棄物処理事業者と支援協定を締結し、情報共有を図っているため、これらを基に仮置場の設置・運営に係る演習を実施したい。 ・また、本市廃棄物処理施設は、ごみの受付入れ・中間処理・最終処分機能を併せ持つ施設であることから、当該施設において演習の実施を予定しているほか、協定締結事業者の参画を依頼することとする。
大阪府	大阪市・堺市・岸和田市・豊中市・池田市・貝塚市・枚方市・八尾市・泉佐野市・寝屋川市・河内長野市・松原市・大東市・箕面市・藤井寺市・四條畷市・熊取町	集積所と 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・3ha以上の敷地内に仮置き場(1ha程度)と複数の集積場(300m²程度)を設置し、集積場から仮置き場への搬出訓練と住民が仮置き場に直接持ち込んだ場合の対応訓練を実施予定。 ・形状や広さの異なる集積場を複数設置することで、参加者が集積場の状況に応じた運営方法を習得できるようにする。 ・事前の意向調査では府内15の市町村及び一部事務組合が参加意思表明をしている。
兵庫県 洲本市・ 南あわじ市・ 淡路市	洲本市・南あわじ市・淡路市	仮置場	<p>発災前の事前周知（発災時の仮置き場の運営予定、発災時に注意してほしいこと等）を効果的に行う方法をご教示願いたい。</p>
和歌山県	有田市・御坊市・田辺市・美浜町・日高町・印南町・みなべ町・白浜町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古座川町・北山村・串本町	仮置場	<p>参加者については、市町村職員、県職員（市町村別支援要員等）、関係団体職員（県産業資源循環協会）等を想定。 参加人数は、30～40人程度を想定。</p>
滋賀県 愛荘町	愛荘町・豊郷町、多賀町、東近江市	仮置場	<p>災害協定先の業者も呼んで訓練を行いたい。</p>

※滋賀県は積雪で延期となり、2026/3/3に実施予定のため参加自治体は変更の可能性あり

図表 1-2 作成した標準形となる実施要領

**令和7年度大規模災害発生時における
近畿ブロック災害廃棄物対策調査検討業務**

仮置場設置・運営訓練等

実施要領

**近畿地方環境事務所
資源循環課**

目 次

1. 実施概要	1
2. 訓練の基本スケジュール	3
3. 訓練の災害設定	4
4. ごみの分別の検討	5
5. レイアウトの検討	6
6. 必要資機材の確認	8
7. 集積所・仮置場の設置	9
8. 集積所・仮置場運営訓練の流れ	10
9. 訓練の振り返り	12

1. 実施概要

目 的

近畿ブロック管内の自治体及び関係者が災害時に迅速な対応が行えるように、集積所・仮置場の設置・運営の現地訓練を実施します。

訓練概要

- ✓ 近畿ブロック管内の府県及び政令市・中核市等の市町村等から本実施要領に基づく訓練等の実施方法・内容について提案募集を行い、6自治体を選定します。
(応募団体例: 府県が主催し府県内自治体と実施、市町村が単独又は共同で実施、組合を構成する複数市町村が組合と合同で実施 など)
- ✓ 1自治体(1回)当たりの訓練等は演習等 2 時間、現地訓練 2 時間程度とし、仮置場の設置・運営等に必要となる一連の業務を模擬体験できる内容とします。
- ✓ 1自治体(1回)当たりの訓練の参加者数は 50 人程度とします(必要に応じて調整)。
- ✓ 訓練は参加団体の状況に応じて以下のどちらかのパターンを選択。
 - ① 住民が集積所に排出、その後自治体が収集し、仮置場に運搬
 - ② 住民が仮置場に排出し、自治体が運搬※住民参加型の訓練ではありません。

訓練の基本内容

- ✓ ごみの分別の検討
- ✓ 仮置場レイアウトの検討
- ✓ 仮置場の設置(看板の設置、車両動線の確保等)
- ✓ 仮置場の運営(入口での受付、廃棄物の積み下ろし等)
- ✓ 訓練の振り返り

参加団体募集期間

～令和 7 年 7 月 4 日(金) 17:00

訓練実施時期

令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月
(1 か月あたり1～2 回程度の実施を想定)

参加団体が準備するもの

- ・当日グループワークを実施するための会場(会議室等)
- ・実地訓練を実施する敷地(集積所や仮置場等の候補地等)
- ・実地訓練で使用する運搬車両(軽トラやバン、公用車等)

事務局が準備するもの

- ・事前説明会・グループワークで使用する資料一式
- ・実地訓練で使用する資機材一式(参加団体が準備するもの以外)
- ・訓練で使用する段ボールによる模擬ごみ
- ・訓練結果の振り返りとまとめ

2. 訓練の基本スケジュール

標準的なスケジュールの例を示します。訓練内容やスケジュールの詳細は、実施団体等関係者との協議で詳細を決定します。事前説明は、オンラインにより実施します。

訓練の基本スケジュール

	時間	内容
事前説明 (オンライン)	13:00～14:00 (60分)	災害廃棄物処理の基礎 について講演
	14:00～15:00 (60分)	仮置場設置訓練の概要・ 手順・準備事項の説明
訓練当日	9:30～10:00 (30分)	受付
	10:00～11:20 (80分)	ごみの分別・広報の検討
	11:20～12:00 (40分)	仮置場レイアウトの検討
	12:00～13:00 (60分)	昼休憩
	13:00～13:30 (30分)	仮置場の設置訓練
	13:30～14:00 (30分)	仮置場の運営訓練 (1班目)
	14:00～14:15 (15分)	準備・休憩
	14:15～14:45 (30分)	仮置場の運営訓練 (2班目)
	14:45～15:30 (45分)	振り返り
	15:30～15:40 (10分)	閉会・事務連絡

3. 訓練の災害設定

訓練の災害設定は、対象団体と協議の上で内容を決定します。

災害設定の例

種別	内容
災害設定	・ 地震により、A 市で災害廃棄物が発生。
廃棄物の発生状況	・ A 市内の広範囲で被害が生じ、発災 7 日後から、住民が片付けごみの持ち出しをはじめる。 ・ 訓練では、片付けごみの受入れを想定し、解体から発生する廃棄物は含まない。

4. ごみの分別の検討

参加自治体の分別区分を踏まえ、また集積所や仮置場からの搬出・処理(受入条件等)を考慮して集積所、仮置場の分別区分や配置の検討を行います。まず、集積所や仮置場で受け入れる災害廃棄物の分別区分を参加者で検討し決定します。

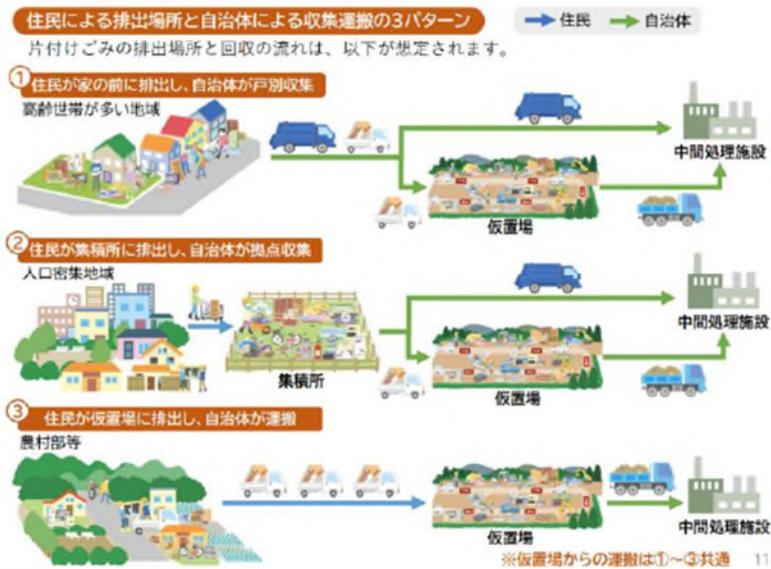
参加団体が複数団体の場合に共通する区分を検討、または事務局があらかじめ標準的な区分を提示します。(応募団体の状況により改めて検討)



【集積所・仮置場での分別区分検討のイメージ】

5. レイアウトの検討

本訓練では小規模な「集積所(住民用仮置場)」及び中規模な「仮置場(一次仮置場)」を対象とします。対象団体の希望や現地状況に応じて、訓練で設置する仮置場の種類・数を事前に決定します。標準的には、訓練敷地内に集積所及び仮置場の2か所、または仮置場1か所を設置し、受入等の運営訓練を行う想定とします。



集積所と仮置場の区分と目安

片付けごみを排出する集積所と仮置場には、大別して以下のような特徴があります。

特徴・条件	集積所(住民用仮置場)	仮置場
搬入対象物	・片付けごみ	・片付けごみ ・解体・撤去による廃棄物
設置者	・自治会等の住民組織 ※自治体の場合もある	・自治体
設置場所 期間	・自治会/小学校区単位で家の近く ・一時的な仮置き(約1～3箇月)	・郊外の離れた場所が多い ・長期に渡って活用(約1～3年)
広さ	・100m ² 程度(大型車両搬出不可) ・人力で搬入できる程度の広さ ・児童公園や集会所駐車場程度	・1ha程度(大型車両搬出可) ・重機利用や租選別できる広さ ・運動公園や地区運動場程度
管理	・自治会等の住民組織による管理が望ましい (適正な分別や満杯時の報告等が必要)	・自治体による管理(業者委託)
持込方法	・主に手作業・一輪車・リヤカー・自家用車(軽トラック等)等で持ち込み	・主に自家用車(ワゴン車、軽トラック等)等で持ち込み (自治体による搬入はパッカー車・トラック等)
その他共通	・閉鎖まで他の用途がないこと、もしくは本来の用途の中断が可能なこと ・道路等の被災により収集運搬車両のアクセスが制限されていないこと ・舗装してあることが望ましい	

▶▶資料編 1-③
▶▶資料編 2-①

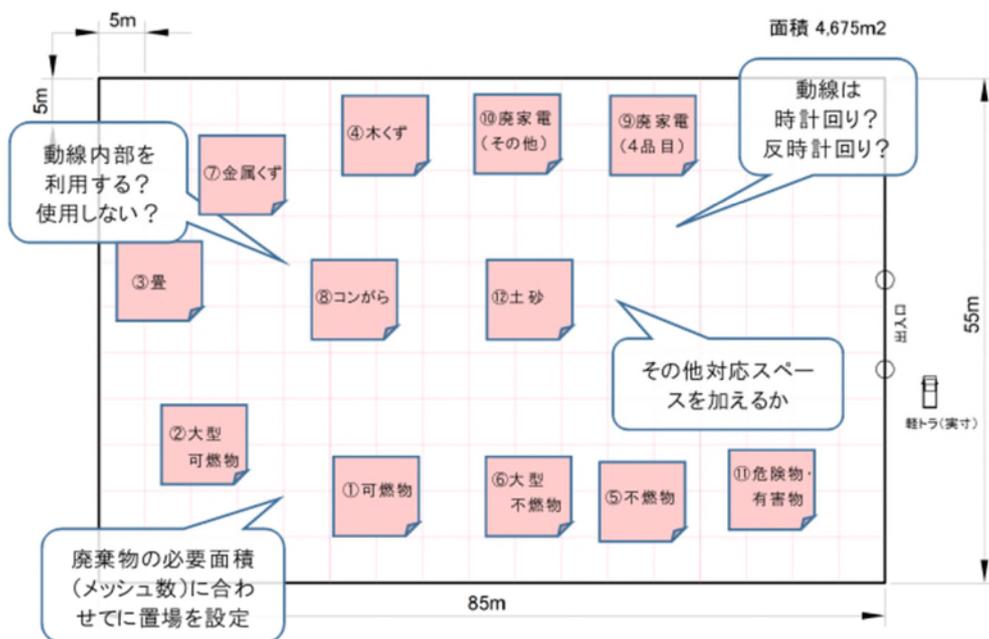
実地訓練の前に、仮置場設置・運営訓練で使用する集積所・仮置場の具体的なレイアウトを検討します。集積所・仮置場レイアウトは複数班で検討したうえで、訓練で設置するレイアウトを参加者で協議して1つのレイアウトを決定します。



【集積所のイメージ】



【仮置場のイメージ】

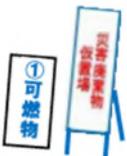


【レイアウト検討ワーキングのイメージ】

6. 必要資機材の確認

5. で検討したレイアウトに、今回の訓練で使用する資機材の配置を各班で検討し決定します。

【使用資機材例】

使用する資機材	用途	数量 (1班あたり)	イメージ
巻き尺	仮置範囲の大きさ・距離を計測します。	2個	
廃棄物種類表示板	廃棄物の分別区分やその他項目を明示した看板を設置します。 (設置にはカラーコーン用のサインボードを使用します。)	12枚	
入口表示板	仮置場の名称を記載した工事看板で入口に設置します。	1枚	
矢印進行板	車両動線の一方通行方向を示します。	5個	
机	仮置場受付に設置します。	1台	
カラーコーン	仮置きする区画の仕切りや、区分表示に使用します。	複数	
トラロープ・ロープフック	仮置きする区画の仕切りに使用します。 (トラロープの設置には、ロープフックを使用します。)	複数	
ブルーシート	土壌汚染の防止、飛散防止等のため敷設するものです。	複数	
見せごみ	仮置場運営側が事前に設置するごみで、その後の搬入者を心理的に誘導します。本訓練ではダンボールごみを使用します。	複数	
誘導棒	誘導員が車両の誘導等をする際に使用します。	3本	

7. 集積所・仮置場の設置

5. で決定したレイアウトと、6. で検討した資機材の配置に基づいて、集積所・仮置場の設置を行います。集積所・仮置場の設置は、訓練参加者全員で行います。

【集積所・仮置場の設置手順例】

1. 午前に決定したレイアウトを全員で確認します。
2. 入口に仮置場名称を記載した工事看板を設置します。
3. 入口近傍に、受付の机を設置します。
4. レイアウトに基づき、距離を巻き尺で計測し、廃棄物種類ごとの区画をカラーコーンやロープ等で明示します。
5. 設定したごみの種別毎に分別区分表示看板を設置します。
6. 車両等の動線を矢印進行板で明示します。
7. 種別毎の見せごみを1つずつ設置します。
8. 全体の設置が終わったら、全員で全体を1周し確認します。



【仮置場資機材の設置イメージ】

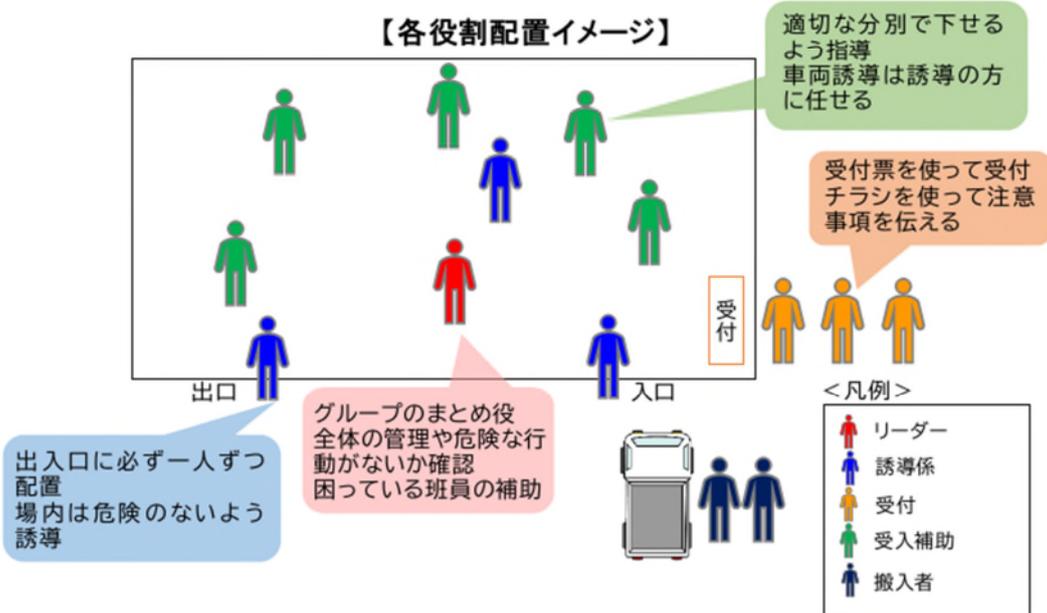
8. 集積所・仮置場運営訓練の流れ

集積所・仮置場運営訓練は、複数の班に分けたうえで、実際の集積所・仮置場運営対応することを想定した役割を参加者に分担します。

【集積所・仮置場運営訓練の役割分担例】

役割	対応	人数
		1グループ 当たり
リーダー 	全体の管理、場内の安全管理、連絡調整	1人
誘導 	出入口及び場内の車両誘導	3人
受付 	搬入者の受付	3人
受入補助 	荷下ろし補助、分別誘導	5人
搬入者 	事務局が運転する搬入車両に追従し、 災害廃棄物を搬入	8台 (8~9人)
合計		20人

【各役割配置イメージ】



【各役割の作業内容】

役割名	対応内容
リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 全体の管理、場内の安全管理、連絡調整
誘導	<ul style="list-style-type: none"> 仮置場の出入口には必ず一人以上配置する。 受付の状況を見ながら、仮置場内へ誘導する。 仮置場内では、危険がないように誘導をする。
受付	<ul style="list-style-type: none"> 搬入者に下記項目を受付票に記載してもらう。 受付票記載項目：搬入者の情報、ごみの量・種類 搬入車両に積んであるごみを、目視で確認し、受付票と違いがないか確認する。 チラシを使って注意事項を伝える。 <p>【注意事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓場内は時速 5km/h 以下で走行すること。 ✓誘導及び受入れ補助の指示に従うこと。 ✓ごみ種別の看板があるところに看板の内容に適したものを荷下ろしすること。 ✓その他不明点は場内の受入補助に聞くこと。
受入補助	<ul style="list-style-type: none"> 荷下ろしされる廃棄物の種類が、適切か確認する。 搬入者の廃棄物荷下ろしを手伝う。(原則搬入者が荷下ろし) 搬入者の質問事項に対応し回答する。(対応できない内容の場合は、リーダーに相談する。)
搬入者	<ul style="list-style-type: none"> 住民役として、仮置場に災害廃棄物を搬入する。 各係の指示に従い、受付、荷下ろしを行う。



9. 訓練の振り返り

訓練終了後に、訓練についての振り返りを実施します。

<内容>

- 訓練状況のフィードバック
- 訓練の感想、気づき
- 訓練を実施して、改めて平時に備えておくべきこと

今後の災害廃棄物対策について、意見交換をお願いします。

意見交換後、各グループで出された意見をリーダーから紹介してください。

【振り返りのとりまとめ様式例】

訓練の感想・気づき	平時に備えておくべきこと
【レイアウト】	
【資機材】	
【仮置場の設置】	
【誘導対応】	
【受付対応】	
【受入補助対応】	

振り返り結果は事務局が取りまとめて、後日参加者に成果をフィードバック致します。

2. 仮置場設置・運営訓練等の実施・運営に係る支援

2.1 業務工程

仮置場設置・運営訓練の工程は図表 2-1 に示す内容で実施した。

図表 2-1 仮置場設置・運営訓練の工程

団体	実施日時	屋内会場	屋外会場
京都府 福知山市	2025年9月30日(月) 14:00~15:05	福知山市環境パーク (2階研修室)	福知山市環境パーク (不燃物埋立処分場)
大阪府	2025年10月22日(水) 13:30~16:00	堺市立人権ふれあい センター学習室1・2	堺第7-3区
兵庫県 洲本市・ 南あわじ市・ 淡路市	2025年11月14日(金) 9:45~15:30	洲本市健康福祉館3 F会議室	城戸アグリ公園・研 修棟
和歌山県	2025年12月25日(木) 10:30~15:30	印南町防災福祉セン ター2階会議室	若もの広場
滋賀県 愛荘町	2026年3月3日(火) 10:15~15:30	東近江行政組合消防 本部愛知消防署会議 室	東近江行政組合消防 本部愛知消防署訓練 場

※滋賀県愛荘町は積雪のため延期(2026年3月3日実施予定)

2.2 参加団体ごとの実施要領の作成

提案団体及び担当官と事前に協議を行い、各団体の要望や特色に応じて訓練の内容を検討し、実施要領の内容を検討した。各訓練の特徴を図表 2-2 に示す。

また、各訓練の実施要領は別添に示す。

図表 2-2 各訓練の特徴

団体	特 徴	
京都府 福知山市	全体方針： 【訓練内容】 集積所＋仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市の職員と協定を締結する廃棄物処理事業者（組合）が対象 ・令和 5 年の豪雨災害経験を踏まえて市が作成した災害廃棄物処理計画及び災害廃棄物処理マニュアルに沿った訓練を行った（計画・マニュアルの実証）。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本について訓練前日に対面で説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は事前に仮置場レイアウト等の必要事項の検討を行い、グループワークは未実施。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・マニュアルに記載の、自治会が設置する「地区別臨時集積所」と市が設置する「臨時集積所（一次仮置場）」の二種類の集積所及び集積所から市が運搬する二次仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ①地区別臨時集積所 約 800 m² ②臨時集積所（一次仮置場） 約 1,000 m² ③二次仮置場 約 3,000 m² ・廃棄物の分別区分は 2 種類の集積所と仮置場で同一とした。 ・運搬車両は協定締結事業者が所有する車両を使用し、運転も協定締結事業者が行った。
大阪府	全体方針： 【訓練内容】 集積所＋仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内の市町村、一部事務組合（合計 18 団体）の職員が参加対象。 ・大阪府内の人口密集地域を想定し、仮置場に加えて住民が搬入する集積所の設置・運営を行った。 ・複数の自治体で 1 つの班を構成し（計 3 班）、班ごとに訓練用の分別区分・レイアウトを決定した。 ・有識者（神戸大学：田畑准教授）にオブザーバーとして参加頂いた。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本についてオンラインで事前説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて集積所で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・集積所は班ごとに 3 種類の分別区分とレイアウトを、仮置場は 1 種類のレイアウトを決定した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・3 種類の集積所と 1 種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ①集積所 A 約 500 m² ②集積所 B 約 500 m² ③集積所 C 約 500 m² ④仮置場 約 3,000 m² ・分別区分は集積所：5～7 区分、仮置場：12 区分とした。 ・運搬車両は参加自治体・組合が所有する車両を使用した。

団体	特 徴	
兵庫県 洲本市・ 南あわじ 市・ 淡路市	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内の3市の自治体職員と各市が平時の生活ごみ収集運搬を委託している廃棄物事業者が参加。 ・都市部とは異なる淡路島しょ部の対応として、仮置場の設置運営を行った。 ・各市が想定する具体的な処理処分先を踏まえた訓練を実施した。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の多数が出前講座に参加していたため未実施。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・2班に分かれて、2種類の仮置場のレイアウトを検討した。 ・片付けごみの分別区分は環境省が想定する12区分とした。 ・各市が想定する具体的な処理処分先を報告した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ① A班仮置場 約2,500㎡ ② B班仮置場 約2,500㎡ ・運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用した。
和歌山県	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県内の自治体のうち、県南部の自治体・一部事務組合（計15団体）職員、協定締結民間事業者（2団体）及び和歌山県災害廃棄物処理支援要員が対象。 ・人口が少ない地域中心の対応として、仮置場の設置運営を行った。 ・複数の自治体で1つの班を構成し（計4班）、班ごとに訓練用の分別区分・レイアウトを決定した。 ・和歌山市を含む県南部の人口密集地域の自治体は、別途県発注業務において仮置場に加えて住民が搬入する集積所の設置・運営を行った。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本についてオンラインで事前説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・4班に分かれて、仮置場のレイアウトを検討し、最終的に2つのレイアウトに絞り込んだ。 ・片付けごみの分別区分は環境省が想定する12区分とした。 ・発災時に住民に配布するチラシの内容を検討した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ① A班仮置場 約1,600㎡ ② B班仮置場 約2,200㎡ ・運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用した。
滋賀県 愛荘町	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・愛荘町及び近隣自治体職員と災害協定を締結している廃棄物事業者が参加。 ・人口が少ない地域の対応として、仮置場の設置運営を行う。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を実施していたため未実施。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証する。 ・2班に分かれて、仮置場のレイアウトを検討し最終的に1つのレイアウトに絞り込む。 ・片付けごみの分別区分は環境省が想定する12区分とする。 ・発災時に住民に配布するチラシの内容を検討する。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場を対象に設置運営訓練を行う。 仮置場 約1,600㎡ ・運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用する。

※滋賀県は積雪で延期となり、2026/3/3に実施予定のため内容変更の可能性あり

2.3 仮置場設置・運営訓練等の実施結果

各訓練の実施結果を以下に示す。

(1) 京都府 福知山市

団体	特 徴	
京都府 福知山市	全体方針： 【訓練内容】 集積所＋仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市の職員と協定を締結する廃棄物処理事業者（組合）が対象 ・令和5年の豪雨災害経験を踏まえて市が作成した災害廃棄物処理計画及び災害廃棄物処理マニュアルに沿った訓練を行った（計画・マニュアルの実証）。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本について訓練前日に対面で説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は事前に仮置場レイアウト等の必要事項の検討を行い、グループワークは未実施。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・マニュアルに記載の、自治会が設置する「地区別臨時集積所」と市が設置する「臨時集積所（一次仮置場）」の二種類の集積所及び集積所から市が運搬する二次仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①地区別臨時集積所 約 800 m² ②臨時集積所（一次仮置場） 約 1,000 m² ③二次仮置場 約 3,000 m² ・廃棄物の分別区分は2種類の集積所と仮置場で同一とした。 ・運搬車両は協定締結事業者が所有する車両を使用し、運転も協定締結事業者が行った。



開会あいさつ



事務局による訓練手順説明



臨時集積所（一次仮置場）の設置状況



地区別臨時集積所の設置状況



二次仮置場の設置状況



臨時集積所（一次仮置場）の搬入状況



臨時集積所（一次仮置場）の運営状況



地区別臨時集積所の搬入状況



地区別臨時集積所の運営状況



二次仮置場の搬入状況



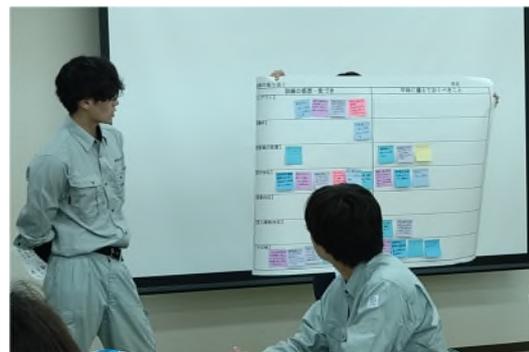
二次仮置場の運営状況



振り返り状況



とりまとめ発表 (1班)



とりまとめ発表 (2班)



とりまとめ発表 (3班)



閉会

<京都府福知山市 仮置場設置状況（レイアウト検討結果を重ね合わせ）>



< 京都府福知山市 受入結果（臨時集積所（一次仮置場）） >

7 区分

	
<p>燃やすゴミ</p>	<p>燃やさないゴミ</p>
	
<p>不燃大</p>	<p>木くず</p>
	
<p>家電</p>	<p>鉄くず</p>
	
<p>危険物</p>	<p>受け入れなかったゴミ</p>

<京都府福知山市 受入結果（地区別臨時集積所）>

7 区分

<p>燃やすゴミ</p>	<p>燃やさないゴミ</p>
<p>不燃大</p>	<p>木くず</p>
<p>家電</p>	<p>鉄くず</p>
<p>危険物</p>	<p>受け入れなかったゴミ</p>

<京都府福知山市 受入結果（二次仮置場）>
7区分

	
<p>燃やすごみ</p>	<p>木くず</p>
	
<p>木くず</p>	<p>不燃大</p>
	
<p>燃やさないごみ</p>	<p>鉄くず</p>
	
<p>家電</p>	<p>危険物</p>

<京都府福知山市 とりまとめ実施結果（1班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトを見ているのと作業するのではなかなか違い、動けなかった ・被災地域に合ったレイアウトの確定 ・その時の状況によって設置場所が変わることを初めて知った→今回はドローンで場所を想定できたが、雨などで飛ばせない場合どうする？ ・可燃、不燃、木くずなど各それぞれ何m×何mなのか明記が欲しい ・受付から燃やすごみ置き場が近く、入り口に搬入者が滞留する可能性がある ・集積所入口に持込できない物の表等を貼りだす ・ごみの分別スペースは一列が分かりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトは出来るだけ広く
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーンだけでは分かりづらい ・トラロープ、ブルーシートなどをどこに設置したらいいか分からなかった ・区分用 PP ロープの活用 	
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別臨時集積所の設置の際には自治会との連携が必要不可欠 ・地区別臨時集積所の設置に時間がかかってしまっていた→先導者が必要 ・仮置場設置の際、リーダーとなる人がいないとあまりまとまらない→誰が何を担当するか決めておく ・手順の箇条書きがあると動きやすいと思う ・手順は全体で。バラバラに分担すると上手にできない 	
<p>【受入対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付票の見直し、品目の有無、混雑時にバタバタする ・災害廃棄物かどうかの見極めが難しい。便乗ごみかどうか ・危険物の定義をしっかりと理解する必要がある ・受付に時間がかかってしまう→そのような時間があるのか ・ごみの別け方が明確に分かる職員の配置が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付の際に横にボードを設置（捨てられるもの／捨てられないもの） ・名前・住所・TEL 受入のとき必要な情報？ ・受付時の簡易的な分別区分シート作成 ・災害ならではのゴミの分別の知識をつける（普段とは別扱いのもの）
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物以外のごみを持ち込まれた際の対応は…？ 	
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブル防止の観点から、積み下ろしは市民さんにしてもらった方がいいのでは ・受入時に区分をチェックする気持ち 	

<京都府福知山市 とりまとめ実施結果（2班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積所を一筆で回るようにごみの積込みが必要 ・場所（集積所）の規模によって配置や人数を考える必要がある ・訓練ではBOXでわかりやすく分別されていたが、実際はメチャクチャな状態で運び込まれる中で、分別はむずかしい ・軽トラ・車輛搬入時、各品目のスペースを、余裕を持ったレイアウトでもよかった 	
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に人員と資機材をあつめるのが大変 	
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮置場ヤード内においては、作業員による小運搬がいいかと…（軽トラ・手押し車等で） 	<ul style="list-style-type: none"> ・集積場所を決定しておく必要性あり ・自治会長をリーダーにするのであれば、一定このような研修を経験してもらっておいた方がよい ・自治会が集積所を設置するのはむずかしいのではないかと
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別をせずに車両に積載されていると、仮置場に下ろす時スムーズに出来ない ・受付での記入や搬入ごみの確認に時間を要した ・持ち込む際にシートの記入があり、どういったごみを何個というのがあったがあれもむずかしい ・受付時の受入品目の個数を入れる欄について、正の数字がかけるくらいの大きさが必要と感じた ・持ち帰らせるごみの指導が重要 ・受付簿 数量・単位が書き込みにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に受付用紙に記入してもらっても良いのでは？搬入ごみの内容等どこまで把握すべきか？ ・受付簿をその場で記入してもらっていると混雑する ・受付の記入を事前に
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合ごみはどうするのか？ ・受入品目の誘導 ・車輛が集積所に入る際、バック誘導が必ず必要 	
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積場所の人員配置が可能か ・車輛受付後も助手席=積込み者がいたほうがよいと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別はあらかじめ連絡しておかなければ困難 ・今回の訓練でもあったが、判断するものが変われば結果が変わるのはすり合わせできるのか。マニュアル作成など
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別区分の認識が異なっていたため、2次仮置場で混在してしまった ・災害の規模によって出てくるゴミの内容や量も変わってくる。スムーズに受け入れるため、区分けは少なくする方がいいと思う ・災害ごみを運んできてはいるのに、持って帰れ（受け入れられない）というだけの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への事前の周知等により、一定、分別はしっかりとしてもらえるのでは？ ・危険物の平常時と発災時の違いを明確にする必要がある ・引取不可品目の明記（災害時） ・適切な区分の分別がわからず手間取った。明確化して欲しい

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>は理解が得られるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分別の仕方を災害後すぐ発信できるか ・ 土のう等の持ち込み先の指示 ・ 不燃大、家電搬入の際、メガネ等のプロテクターが必要と感じた ・ 持ち帰らせたごみの行方が… ・ 住民への周知 ・ 鉄くず等の窃盗 	

< 京都府福知山市 とりまとめ実施結果模造紙 (2班) >

■ 訓練の振り返り 班名: 2

訓練の感想・気づき	平時に備えておくべきこと
<p>【レイアウト】</p> <p>※ 指示の出し方、一歩引く位置、目印の設置、目印の設置、目印の設置</p>	
<p>【資機材】</p> <p>※ 資機材の準備、資機材の準備、資機材の準備</p>	
<p>【仮置場の設置】</p> <p>※ 仮置場の設置、仮置場の設置、仮置場の設置</p>	<p>※ 資機材の準備、資機材の準備、資機材の準備</p>
<p>【受付対応】</p> <p>※ 受付の対応、受付の対応、受付の対応</p>	<p>※ 資機材の準備、資機材の準備、資機材の準備</p>
<p>【誘導対応】</p> <p>※ 誘導の対応、誘導の対応、誘導の対応</p>	
<p>【受入補助対応】</p> <p>※ 受入補助の対応、受入補助の対応、受入補助の対応</p>	<p>※ 資機材の準備、資機材の準備、資機材の準備</p>
<p>【その他】</p> <p>※ その他、その他、その他</p>	<p>※ 資機材の準備、資機材の準備、資機材の準備</p>

※ 持ち帰らせたごみの行方、持ち帰らせたごみの行方、持ち帰らせたごみの行方

<京都府福知山市 とりまとめ実施結果（3班）>

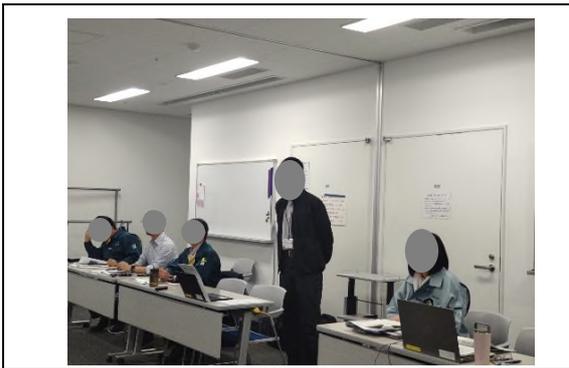
【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置順 ・本日の訓練でありました太陽光パネルなど、分別判断ができないものを別けて置くスペースの確保 ・動線が少し解りにくかったと思います ・迅速に協力して設置ができた ・レイアウトは看板の設置によって迷うことがなかったのがよかったと思う ・だいたいよかったと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次仮置場の様に地区の集積所も一次仮置場も平行に置場を設けられる様に広く取った方が良い ・レイアウトはもう少し広く ・受入品目をもう少し細かく ・どの集積所も品目に番号を振り統一すれば、ならばバラバラでも作業がしやすい
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電の一部（TV、冷蔵庫、パソコン）などの分別はそのまま家電に入れてよいか ・危険物もある為、消火器等の設置 ・置く前にブルーシート等で養生した方が良いのでは？ 	
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積所、仮置場 コーンプラスホワイトラインで区画を書けば解り易いのでは ・今回は同じ広さだったが実際はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトと同様、二次仮置場の様に地区の集積所も一次仮置場も平行に置場を設けられる様に広く取った方が良い ・地区別及び1次仮置場での分別区分のルール化
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙内容 ・受付時の記入の改良。また渋滞の改善策が必要 ・便乗ごみの防止にはなり得るので受付は必要 ・分別の方法 解り易く良い方法があれば良いのかな ・受付の記録用紙の記入はもっと簡単にすればどうか ・受付で時間がかかる為スピーディに対応 ・対応する人間の人数の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入は時間がかかるので人数を増やすか、もっと記入を簡単にするか
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保 ・誘導も声が大きくて聞き取りやすかった ・それぞれのセクションで作業する者と誘導する者はわけた方が良い 	
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多ければ尚良し 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの区分を明確にする事。スピード感が大事になる ・分別区分明確 通常時／災害時 	

<京都府福知山市 とりまとめ実施結果模造紙 (3班)>

■訓練の振り返り		班名: 3
訓練の感想・気づき		平時に備えておくべきこと
【レイアウト】 配置場	<p>レイアウト</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>	<p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>
【資機材】	<p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>	
【仮置場の設置】	<p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>	<p>訓練の感想・気づき</p>
【受付対応】 用輪内容	<p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>	<p>訓練の感想・気づき</p>
【誘導対応】	<p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p> <p>訓練の感想・気づき</p>	
【受入補助対応】	<p>訓練の感想・気づき</p>	
【その他】	<p>訓練の感想・気づき</p>	<p>訓練の感想・気づき</p>

(2) 大阪府

団体	特 徴	
大阪府	全体方針： 【訓練内容】 集積所＋仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内の市町村、一部事務組合（合計18団体）の職員が参加対象。 ・大阪府内の人口密集地域を想定し、仮置場に加えて住民が搬入する集積所の設置・運営を行った。 ・複数の自治体で1つの班を構成し（計3班）、班ごとに訓練用の分別区分・レイアウトを決定した。 ・有識者（神戸大学：田畑准教授）にオブザーバーとして参加頂いた。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本についてオンラインで事前説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて集積所で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・集積所は班ごとに3種類の分別区分とレイアウトを、仮置場は1種類のレイアウトを決定した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・3種類の集積所と1種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ①集積所 A 約 500 m² ②集積所 B 約 500 m² ③集積所 C 約 500 m² ④仮置場 約 3,000 m² ・分別区分は集積所：5～7区分、仮置場：12区分とした。 ・運搬車両は参加自治体・組合が所有する車両を使用した。



開会あいさつ



グループワーク実施状況



廃棄物分別区分の検討 (A班)



廃棄物分別区分の検討 (B班)



廃棄物分別区分の検討 (C班)



集積所のレイアウトの検討 (A班)



集積所のレイアウトの検討 (B班)



集積所のレイアウトの検討 (C班)



仮置場のレイアウトの検討



集積所の設置状況 (A 班)



集積所の設置状況 (B 班)



集積所の設置状況 (C 班)



仮置場の設置状況



集積所の搬入状況 (A 班)



集積所の搬入状況 (B 班)



集積所の搬入状況 (C 班)

	
<p>集積所の運営状況 (A班)</p>	<p>集積所の運営状況 (B班)</p>
	
<p>集積所の運営状況 (C班)</p>	<p>仮置場の搬入状況</p>
	
<p>仮置場の運営状況</p>	<p>訓練結果の確認講</p>
	
<p>振り返り</p>	<p>有識者講評</p>

<大阪府 廃棄物分別区分の検討結果 (A班)>
5区分

■ごみの分別区分の検討

班名: A

分別区分	廃棄物	留意事項
可燃		
不燃		
家電4品目	 	
処理困難物	 	
畳		

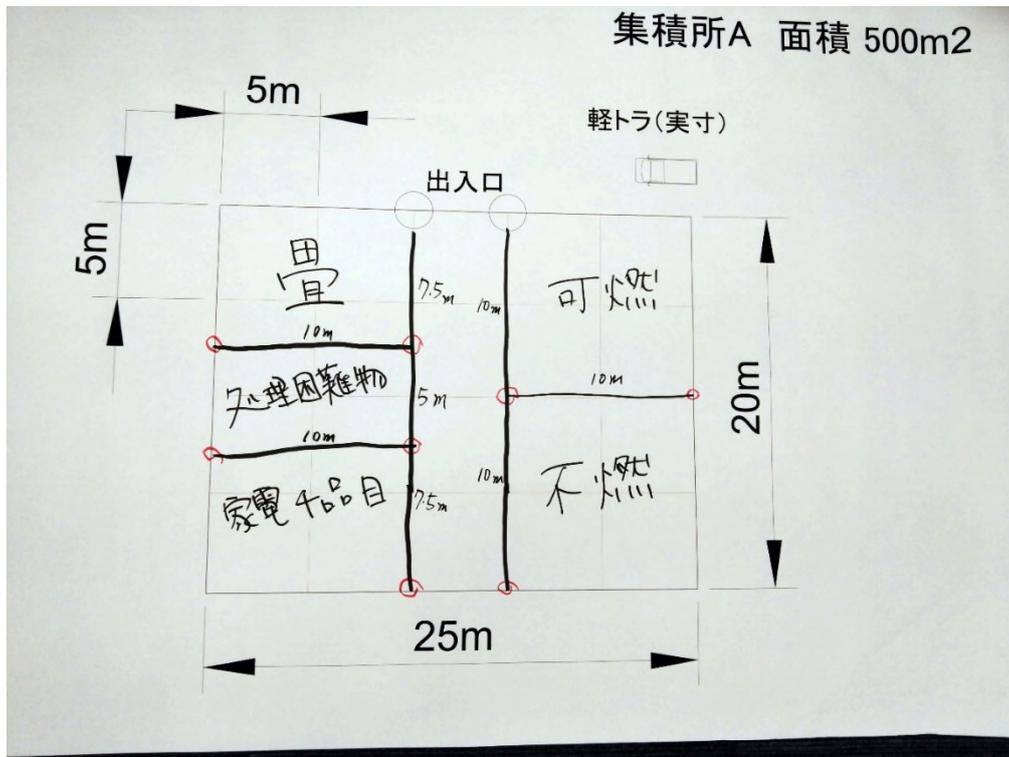
<大阪府 廃棄物分別区分の検討結果 (B班)>
5区分

■ごみの分別区分の検討

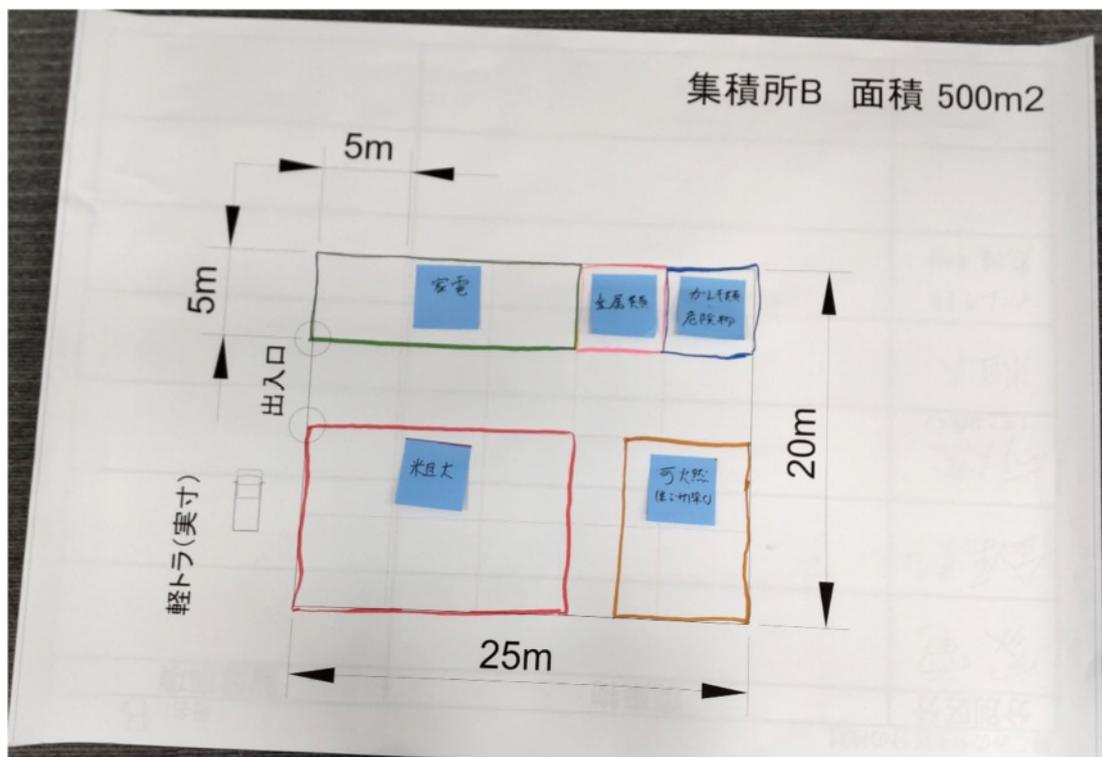
班名: B

分別区分	廃棄物	留意事項
家電	 	
金属類	 	
可燃 (不燃除く)	 	
粗大	 	
カス類 危険物	 	

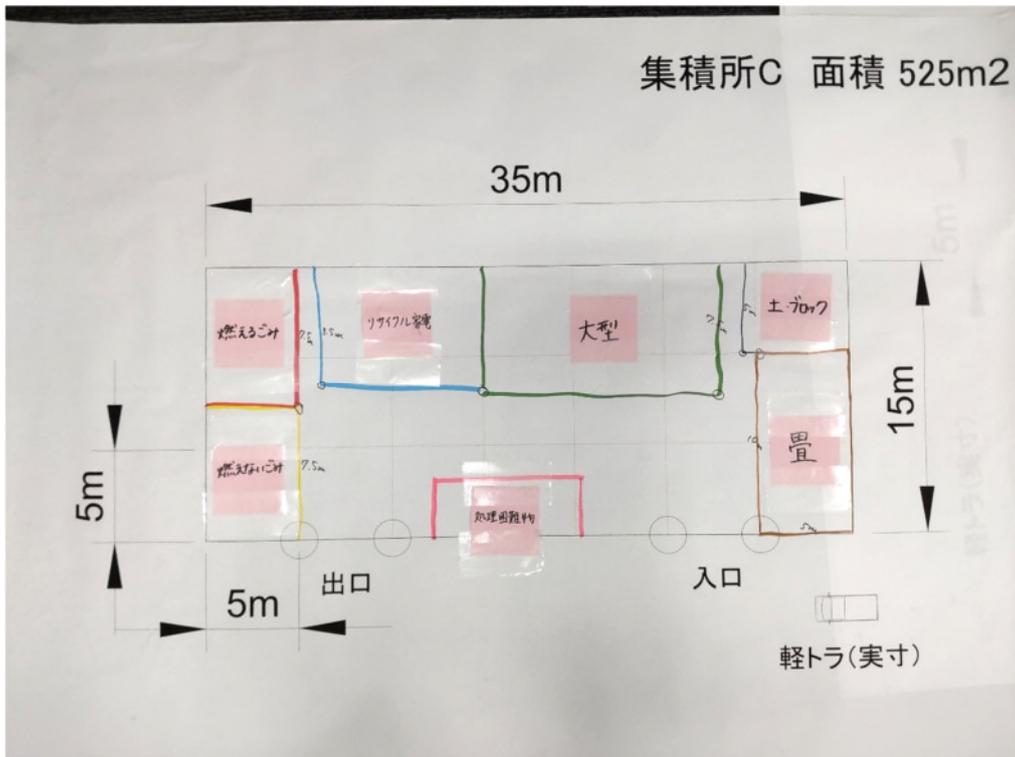
<大阪府 レイアウト検討結果（集積所 A）>



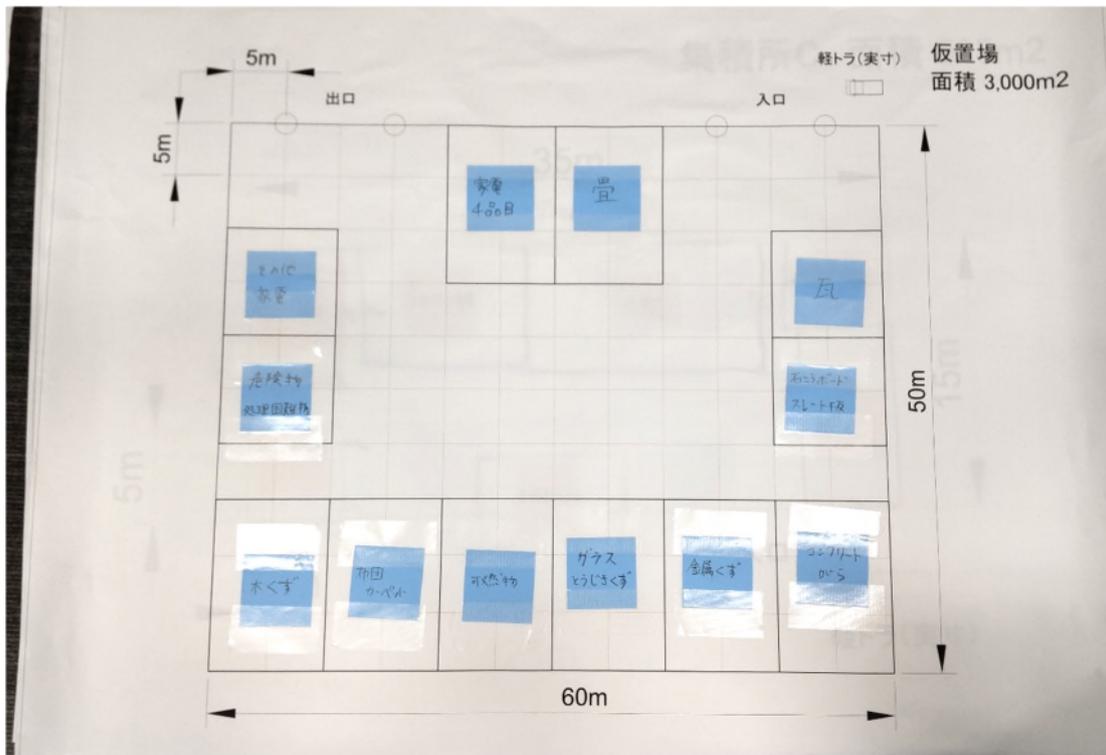
<大阪府 レイアウト検討結果（集積所 B）>



<大阪府 レイアウト検討結果（集積所C）>



<大阪府 レイアウト検討結果（仮置場）>



<大阪府 受入結果（集積所 A）>
5 区分

	
<p>可燃</p>	<p>不燃</p>
	
<p>家電 4 品目</p>	<p>処理困難物</p>
	
<p>置</p>	<p>受け入れなかったごみ</p>

<大阪府 受入結果（集積所 B）>
5 区分

	
<p>家電</p>	<p>金属類</p>
	
<p>可燃（生ごみを除く）</p>	<p>粗大</p>
	
<p>瓦礫類・危険物</p>	<p>受け入れなかったごみ</p>

<大阪府 受入結果 (集積所 C) >
7 区分

	
<p>燃えるゴミ</p>	<p>燃えないゴミ</p>
	
<p>大型</p>	<p>リサイクル家電</p>
	
<p>処理困難物</p>	<p>畳</p>
	
<p>土・ブロック等</p>	<p>受け入れなかったゴミ</p>

<大阪府 受入結果（仮置場）>
 環境省マニュアルに示される 12 区分

	
<p>可燃物</p>	<p>布団・カーペット</p>
	
<p>瓦</p>	<p>コンクリートがら</p>
	
<p>木くず</p>	<p>畳</p>
	
<p>石膏ボード・スレート板</p>	<p>金属くず</p>

	
<p>家電4品目</p>	<p>ガラス・陶磁器くず</p>
	
<p>その他家電</p>	<p>危険物・処理困難物</p>

<大阪府 とりまとめ実施結果)>

【レイアウト】

【訓練の感想・気づき】
<ul style="list-style-type: none">・仮置場は 3000 m²でも小さいと感じた。集積所を 5 品目にした場合、仮置場 12 品目だと大きさが同じくらいになってしまう。・もっと狭い可能性がある・きれいな区分けができないはず・公園遊具があるので注意が必要・集積所によって、集め方が違うので、仮置場での分別が難しいのでは・白線の方がわかりやすい・集積所については市民が分かりやすいよう、仮置場への搬送の際のことを考え、分別含めてレイアウトする必要がある・面積、分別等、事前の準備が重要・わかりやすい・各自治体において、分別区分や処理能力に違いがある為、それを踏まえて、区分化レイアウトを考える必要がある。・集積所と仮置場の特性に応じたレイアウトが必要・分別が分かりやすかった・12 区分に分けていたが、実際降ろし漏れ用に最後に降ろし受け場所があるといい。・細かい点は何点かあるが…仮置場は後戻りができない →ニッチなものを入口に寄せては？・敷地の面積がわかっていたので、メジャーで測りながらスムーズに行くことができた メジャーで測ってコーンを置くだけだが、チームワークも必要。・思った以上の難しさがあった。荷入れ幅がわからず、どれが正しいのかわからなかった。・今回水害を想定して、配置したがもっと良い配置もあったか？と思いました。・考えた際はわかりやすいと思ったが、運び込むと何をどこに置くべきかわからなくなる。・どのくらいの量が搬入されるか想定できないと配置を決めにくい。危険物をおく場所（金属の近くは危なくない？）・自治体により分別・処理が違うので参考になった・難しい・災害の種類によって区分と面積を変える・市民に分かりやすく下ろしやすい・畳が発生するなどの危険性も視野に入れなければいけない・想像以上に面積が必要とわかった。・仮置場等以外の車の動線は決めておくべき、仮置場を軸に考える・車や人が歩くスペースをつくることも大事だと感じました。・品目について、自治体ごとに取り扱いが違うので、少しとまどった・スムーズに荷卸しできる動線。わかりやすい看板。危険物などの配置。・動線を考えてレイアウトを考える・品物の区分が市によって意見があり、レイアウトについてもその影響をうけた・集積所の品目の考え方、種類、数等の整理・各自治体でごみ搬出に関する考慮があったものの概ね、適切に整理されていると思う・ざっくり決めて搬入される物の量で臨機応変に対応するのが良い

【レイアウト】

【平時に備えておくべきこと】

- ・分別すべき区分は決め、住民にも周知しておくべきだと感じた。
- ・集積所の指定とレイアウトを決めておくべき、集積所にもおいておく
- ・備品管理
- ・市民に災害時のごみの出し方、考え方を周知する
- ・災害が発生した際の被害想定
- ・ある程度は考えるべき
- ・集積所では、レイアウト（分別区分）に限りがある為、それを踏まえた準備
- ・地域に応じた場所の確保が想定
- ・計画の周知が必要です。
- ・候補地のレイアウトを準備しておく
- ・集積所や仮置場の面積（縦・横）を予めしておくとういと思う。
- ・実地訓練で気づくことが多かったので、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・複数のパターンをつくる
- ・水害に限らずいろんな災害を想定すること
- ・平時から災害時の分別を決めておき、周知していく。
- ・仮置場での配置を決めておく
- ・実際の仮置場でのレイアウトを作成しておく
- ・動線を考える
- ・ごみの量、大きさによりマトリックスを作っておけばレイアウト作成に役に立ちそうだなと感じた。
- ・レイアウト作成
- ・本市としても想定しておくことが必要を感じた。
- ・レイアウトを考えておく
- ・可能な限り対象物以外を搬入させないように知識つけておく
- ・一次集積所→仮置場のイメージをしておく
- ・仮置場の分別を決めておく必要がある
- ・災害が起こる前にある程度レイアウトを決めておくべきだと感じました。
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。チラシの作成（地震用・水害用）
- ・持込物の分け方を決めておく
- ・日頃から自分の市の処理に応じた処理区分を決めておく必要があると感じた。
- ・分別、区分の確認、共有

【資機材】

【訓練の感想・気づき】

- ・コーンやラインが分かるようなロープなど分別を明示する
- ・備えておく機材が多く必要だと気付いた
- ・かなり多くの物品が必要
- ・ロープがもう少し必要だった
- ・細かい点は何点かあるが…
 - ・コーンの必要性
 - ・カラーコーンやトラバー以外にトラバーをひっかける器具や看板の簡易的なものがあることができた
- ・訓練としては、不足等はなかったと思う。
- ・実際のときもビブス（役割名）があるとわかりやすいと思った。
- ・コーンやロープが足りない
- ・1～12の数字をつけるプレートがあった方が良かったか？と
- ・コーン・ロープなど足りないのではと思った。

【訓練の感想・気づき】

- ・想像以上に資材（カラーコーン、トラロープが必要）
- ・コーン・看板等の準備をしておく必要がある。
- ・立て看板をあらかじめ用意しておくとう搬入時に案内しやすい
- ・カラーコーン加えて紐やバーなどあればよい
- ・市民がわかりやすくするために多くのものが必要なことに気づいた。
- ・限られた中での対応が難しかった
- ・枠を決められるような資材が必要では。
- ・雨が降る場合があるのでテントもあればよいと感じた。
- ・各職員にハンディスピーカーなどがあればよい
- ・スムーズに荷卸しできる動線。想定量を考えるナンバリングが必要。わかりやすい看板。
- ・特に問題なし
- ・特に不足している資機材はなかった。

【資機材】

【平時に備えておくべきこと】

- ・同時に必要なものの確認、普段から訓練しておけば…
- ・平時から備品を準備していく必要あり
- ・機材の準備
- ・災害時にあたり必要な資機材が多く、準備（ソース？）が必要
- ・リストアップと調達
- ・資機材の事前購入が必要です
- ・ロープ等、境界を示すものは必要→準備
- ・集積所でも簡易な看板を備えておき、日頃から自治会などでも認識しておいてもらった方がよいと思った。
- ・実地訓練で気づくことが多かったので、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・十分な準備
- ・わかりやすい看板を用意しておく
- ・数の準備
- ・限られた財源の中で少しずつ購入
- ・今回の研修で使用した資材を参考に準備しておく
- ・備えとく
- ・1年に1度程度で点検
- ・必要数を用意
- ・カラーコーン等は平時から備蓄しておく
- ・コーンやメジャー等が非常時に使用できるように準備するべきだと思いました。
- ・スピーカー、誘導棒などを用意しておく
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。チラシの作成（地震用・水害用）
- ・市として、準備しておく必要がある（メジャー等）
- ・分別、区分の確認、共有

【仮置場の設置】

【訓練の感想・気づき】

- ・仮置場の運営、レイアウト決定にリーダーのみが参加となったため、現場での確認だけになり、理解に時間を要した
- ・集→仮への持ち込み方法を業者に知らせる必要あり
- ・問題なし
- ・スムーズに排出できるようなレイアウト
- ・担当な広さがなければ、分別を細かくすることは難しい

【訓練の感想・気づき】

- ・レイアウトをしっかりと考える必要がある
- ・細かい点は何点かあるが…広さがあるので、メジャーで測りながらレイアウトを見ながら設置するのが大変だった。
- ・かなり広いので、四角は色の違うコーンとかにするといいかも
- ・発火性のあるごみを置く位置に注意。*周囲は不燃性のごみを置くように等
- ・バラバラに動いていて、出来上がりがわからない
- ・物が置かれてしまうと変更が難しそうなので、量が多い物を想定し、広めにとる等の対応が必要
- ・家電2種や資材など、似ている物を近くに配置した方が間違いがなくなるのではないか。
- ・家電4品目でもリサイクルできない物があり
- ・導線を考えるのが難しい
- ・難しい
- ・自治会との協力が必要だが、どの程度管理してもらえるかわからない。
- ・市民、パッカーの誘導が難しい
- ・車のスペースなどをしっかり考える。
- ・時間が短く、また、職員間の連携が不足していた
- ・事業者と市民をわける
- ・分別を分かりやすくするための表現を大事だと思いました。
- ・三角コーナーにバーがあればわかりやすかった
- ・役割分担の必要さ
- ・場所の面積を考慮する必要あり
- ・仮置場には市民の搬入はしない方がよい

【仮置場の設置】

【平時に備えておくべきこと】

- ・場所（候補地）の確認
- ・同時に必要なものの確認、普段から訓練しておけば…
- ・備品が使えるか確認
- ・有事には考える時間がないので、平時にしっかりと検討する
- ・仮置場の確保
- ・決めておく
- ・地域に応じた場所の確保が想定
- ・選定場所が難しいが、事前に周知が必要です
- ・候補地のレイアウトを準備
- ・日頃から設置場所のレイアウトを考えておく必要があると思った。
- ・実地訓練で気づくことが多かったため、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・計る人、コーンを置く人、ロープをはかる人、それぞれ分担させる
- ・まず、仮置場となる広い場所を想定する
- ・シチュエーションをして、動線と配置を決めておく
- ・場所の確保
- ・人口にあった面積が確保できるか
- ・災害処理計画を確認
- ・職員間でレイアウトのイメージを共有しておく
- ・レイアウトと同じ
- ・各自治体でレイアウトを決めておく
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。チラシの作成（地震用・水害用）
- ・ごみの分別を決めておく
- ・かなりの場所が必要であり、場所を確保しておく必要があると感じた。
- ・分別、区分の確認、共有

【受付対応】

【訓練の感想・気づき】

- ・訓練としては事前に打合せをしておいた方が良かった。
- ・問題なし
- ・誘導係との連携、受付できないごみを明確化しておく。動線を明確化
- ・親切でスムーズでした
- ・搬入されるごみが何かの把握と案内の確実性が大事
- ・雨の中大変よかった
- ・受入補助者が区分を理解していないと区別が難しい
- ・細かい点は何点かあるが…
- ・人数 12 そんなにいらんのでは？どうせ中でつまる
- ・受付でレイアウト図で示しながら、誘導してもらおうのがよいと思う。
- ・受付からトランシーバーで品目を場内で伝えてもらえたらいいと思う
- ・拡声器あればよい
- ・受付担当が持ってきたものに対して 1~12 の数字で言ってあげるとスムーズ
- ・災害廃棄物以外を入れないこと
- ・紙ベースで申し込み書を作成するか、タブレット等で対応できるようにしたい
- ・素晴らしい
- ・産廃などは受付で断ってもらおうとありがたいが、トラブルになる可能性もあり、断り方を考えなければ
- ・混乱防止のため市職員が運営に携わる必要がある。
- ・列に並んで同時に複数対応できるように
- ・渋滞の原因になっていた
- ・人が多い
- ・受付時にごみの内容を確認すればスムーズに置場まで案内できる
- ・受付時に荷卸し場所の案内が必要
- ・分別を理解しておく必要あり
- ・受付で確認した搬入品目を誘導係と共有すれば区分間違いを減らせるかと思った。
- ・少し誘導場所が違うものがあったが、おおむね良かったと思う。

【受付対応】

【平時に備えておくべきこと】

- ・備品が使えるか確認
- ・有事には考える時間がないので、平時にしっかりと検討する
- ・事前の分別区別と、出されるごみの想定
- ・人員や活動行為の想定
- ・今回のように市でも災害対応の訓練ができるようにしたい
- ・どういう情報が必要か整理していく。(住所、氏名等)
- ・どのような区分で具体的な品目を想定しておく必要がある。
- ・実地訓練で気づくことが多かったなので、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・何が受け入れ可能で、何が受け入れ不可か？を決める
- ・平時から想定を行い、ロープレすることが必要
- ・誘導者を多く
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。チラシの作成(地震用・水害用)
- ・地域での訓練等が必要
- ・分別、区分の確認、共有

【誘導対応】

【訓練の感想・気づき】

- ・効率的な訓練のためには車両をあまり持たせないように工夫できるよう事前調達した方が良かった。
- ・安全に誘導していただいた
- ・一般と集積所から搬入した車と同じ入口なのはどうか
- ・問題なし
- ・受付は連携し、スムーズな誘導を
- ・わかりやすい
- ・スムーズに車両が動けるようわかりやすい誘導が求められる
- ・ナンバーリングでの区分けがスムーズに行く。
- ・車両がスムーズに搬入できていた。”
- ・細かい点は何点かあるが…
- ・混雑しないため、不要。中が1~2台なら1~2人でいいのでは
- ・適格な仕分け誘導が必要
- ・誘導の人数は少し減らして受入補助を増やした方がスムーズではないでしょうか。
- ・拡声器あればよい
- ・誘導したいはたぶん警備員がされると思うが、逆走させないようにすべき
- ・車の移動ルートはしっかりと決めておくべき
- ・混雑するので、一台ずつはなし。複数台一気に入れる必要がある。
- ・素晴らしい
- ・受付時に区分表を市民に渡し、すぐ案内できるようにすべき
- ・交通事故が起こらないように仮置場から出た後の動線
- ・何を載せているかを聞き、スムーズに案内するのが大切だ
- ・的確に案内することが大切だと感じた。
- ・人が少ない
- ・どのごみが搬入されたか伝達が必要
- ・分別を理解しておく必要あり
- ・少し誘導場所が違うものがあったが、おおむね良かったと思う。
- ・待つ渋滞するのでどんどん入れた方が良かったと思うが、事故や余計混むかも

【誘導対応】

【平時に備えておくべきこと】

- ・備品が使えるか確認
- ・有事には考える時間がないので、平時にしっかりと検討する
- ・事前の分別区別と、出されるごみの想定
- ・人員や活動行為の想定
- ・事前の訓練が必要です。
- ・棒をもっとく
- ・日頃からどのような廃棄物があり、どう区分するか想定しておく
- ・実地訓練で気づくことが多かったなので、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・ガードマン、警備員がすぐ準備できそうか？←無理なら職員が担当
- ・シミュレーションをして、動線と配置を決めておく
- ・区分表作成
- ・平時から想定を行い、ロープレすることが必要
- ・誘導者を多く
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。チラシの作成（地震用・水害用）
- ・地域での訓練等が必要
- ・分別、区分の確認、共有

【受入補助対応】

【訓練の感想・気づき】

- ・一般と集積所から搬入した車が同じ入口なのはどうか
- ・問題なし
- ・積み下ろしをどこまで手伝うのか？間違った分別をしないように
- ・搬入する人が迷わないよう適切な補助が必要
- ・わかりやすい
- ・積み下ろしの際、分別が適切か最終の確認になる
- ・細かい点は何点かあるが…
- ・人数はそんなにいらんのでは
- ・誘導の人数は少し減らして受入補助を増やした方がスムーズではないでしょうか。
- ・拡声器あればよい
- ・自ら動いて荷物はこびをすることで、渋滞をへらせたのでは
- ・スムーズにするため積極的に積み下ろしを手伝う
- ・車から運んでいたが、災害時にどこまで補助するか考えるべきではないか
- ・連携が大事
- ・1人で3~4箇所の担当をできれば
- ・素晴らしい
- ・ごみの下ろし忘れがあったときに、再度受付に回ってもらうか、引き取って持っていくか迷うかもしれないと感じた。
- ・市民にも協力をあおぐべき（人数確保）
- ・このごみは何ごみか？に気を取られ、そもそも災害廃棄物として受け入れて良いかの判断が難しかった。
- ・便乗ごみが無いように注意
- ・重たい荷物など、分別が難しい品目を分類できるようにする必要がある
- ・的確に案内することが大切だと感じた。
- ・車が来たら分かりやすく手を振るなどしてアピールをすればスムーズに進むと思いました。
- ・ごみの確認をしっかりすることが重要
- ・荷卸しの補助の人数をシ種類別に変更
- ・分別を理解しておく必要あり

【受入補助対応】

【平時に備えておくべきこと】

- ・備品が使えるか確認
- ・有事には考える時間がないので、平時にしっかりと検討する
- ・事前の分別区別と、出されるごみの想定
- ・分別内容の把握
- ・人員の選定
- ・実地訓練で気づくことが多かったので、各自治体で取組が進むようにしていただければと思います。
- ・分担区分を理解しておく
- ・シミュレーションをして、動線と配置を決めておく
- ・役割分担、整理
- ・実際は受け入れないごみを事前にスタッフに周知しておく必要がある
- ・生活ごみの受け入れの可否をルール化しておくべき。役割分担を決めておく。
- ・チラシの作成（地震用・水害用）
- ・地域での訓練等が必要
- ・分別、区分の確認、共有

【その他】

【訓練の感想・気づき】

- ・ラインマーカーが必要かも
- ・本市では仮置場の面積が足りないため、広域で対応する必要がある。その際の分別などルールの統一化が必要と感じた。
- ・全てにおいて、良かったと思います。
- ・全体像を把握するにはよかったです。雨なので振り返りは後日でよかったのでは？
- ・周知が非常に大事
- ・ぬかるまない様な鉄板等は必要となる。導線上に
- ・炊飯器の置き場など細かく確認したい
- ・自分から動きたくても流れがわからなかった。経験者がリーダーとなってくれたので、コツ等がつかめた
- ・一般との混同はどうなのか、自治会の減少はどうするか？
- ・各市によって、わけがちがう
- ・模型などで事前にイメージできれば、現場での作業はスムーズになる
- ・実際の対応はもっと大変になると思った。
- ・町会に入らない人が多いので、その人たちへの広報をどうするか、町会の人に町会に入らない人たちのめんどうをみてもらうのをどうするか。

【その他】

【平時に備えておくべきこと】

- ・有事には考える時間がないので、平時にしっかりと検討する
- ・常に考えるべきことです
- ・市単独、ブロック毎年、この訓練は継続すべき。本市はまだ何もできていないに等しい
- ・できるだけ参加して、疑似体験での経験をしておく
- ・タンス類はパッカーでつぶすべきか？仮置場に持っていくべきか？
- ・職員全員が把握できるように定期的に職場での訓練も必要
- ・事前にしきをとる内容を決めておく
- ・仮置場の場所、レイアウトなど災害時から考えるとすぐにはできないので、日頃からこのような訓練により考えておく必要があると感じた。
- ・分別、区分の確認、共有

(3) 兵庫県 洲本市・南あわじ市・淡路市

団体	特 徴	
兵庫県 洲本市・ 南あわじ 市・ 淡路市	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内の3市の自治体職員と各市が平時の生活ごみ収集運搬を委託している廃棄物事業者が参加。 ・都市部とは異なる淡路島しょ部の対応として、仮置場の設置運営を行った。 ・各市が想定する具体的な処理処分先を踏まえた訓練を実施した。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の多数が出前講座に参加していたため未実施。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・2班に分かれて、2種類の仮置場のレイアウトを検討した。 ・片付けごみの分別区分は環境省が想定する12区分とした。 ・各市が想定する具体的な処理処分先を報告した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ① A班仮置場 約2,500㎡ ② B班仮置場 約2,500㎡ ・運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用した。



開会あいさつ



グループワーク実施状況



廃棄物分別区分の検討 (A 班)



廃棄物分別区分の検討 (B 班)



仮置場のレイアウトの検討 (A 班)



仮置場のレイアウトの検討 (B 班)



仮置場の設置状況 (A 班)



仮置場の設置状況 (B 班)



仮置場の搬入状況 (A班)



仮置場の搬入状況 (B班)



仮置場の運営状況 (A班)



仮置場の運営状況 (B班)



訓練結果の確認



振り返り状況



とりまとめ発表 (A班)



とりまとめ発表 (B班)



閉会

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 廃棄物分別区分の検討結果 (A班) >
 環境省マニュアルに示される12区分

①可燃

②布団・カー

③瓦

④コンクリート

⑤木くず

⑥たたみ

⑦石こうボード・スレート

⑧金属くず

⑨ガラス・陶磁器

⑩家電4品目

⑪その他家電

⑫危険物・処理困難物

や X
 や
 大
 淡土
 清水 奥烟
 や A班
 大
 ヤマキン
 奥
 共正
 大栄
 その他

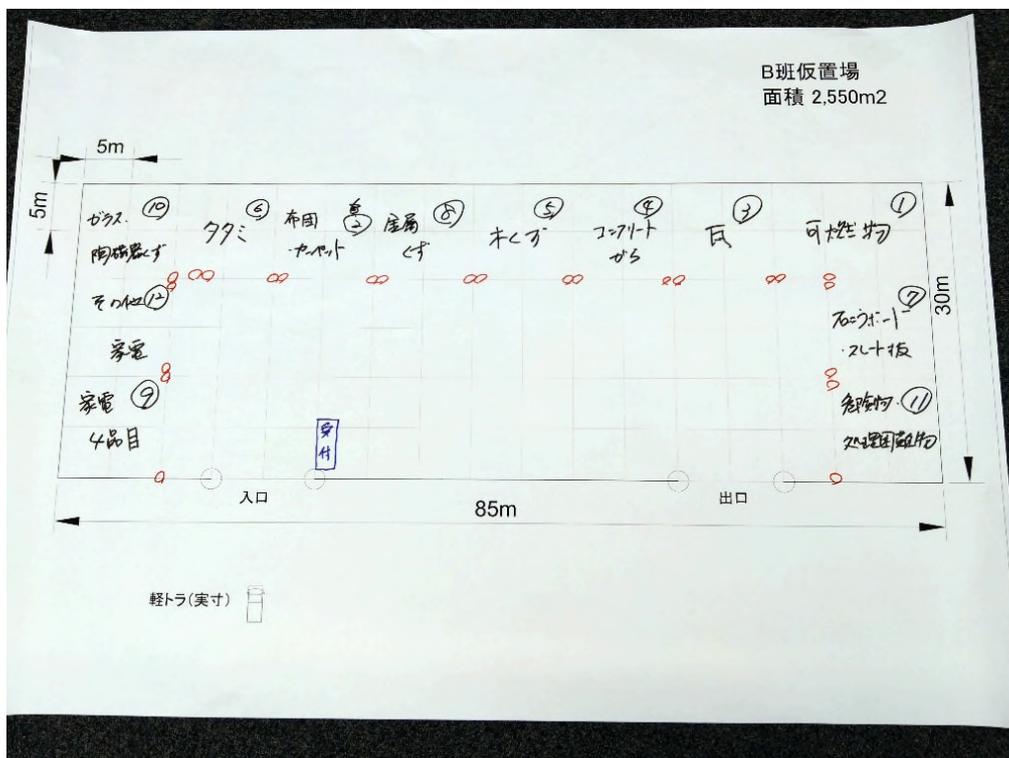
<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 廃棄物分別区分の検討結果 (B班) >
 環境省マニュアルに示される 12 区分

1. 可燃物			淡: 夕陽 南: やまがし
2. 布団・カーペット			淡: 夕陽 南: やまがし
3. 瓦			淡: 大塚建設 7-2072 南: (南) 建設現場
4. コンクリートかた			淡: 淡路土木 7-2072 南: 建設現場
5. 木くず			淡: 夕陽・中野建材 南: 鳥取盛栄
6. 珞珞ミ			淡: 夕陽 南: やまがし
7. 石・ポット・スレート板			淡: 大塚建設 南: 鳥取盛栄 (南) 建設現場
8. 金属くず			淡: やまがし 南: 市内見種
9. 家電4品			淡: 共正 南: 興跡
10. ガラス・陶磁器くず			淡: 奥田 南: "
11. 危険物			淡: 球計の専門業者 南: "
12. その他家電			淡: 大塚建設 南: ERジャパン

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 レイアウト検討結果 (A班) >



<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 レイアウト検討結果 (B班) >



<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 住民広報のチラシ検討（A班）>
 ※B班は時間の関係で未実施

(3班)

被災された方・ボランティアの皆様へのお願い

年 月 日

災害により発生したごみの出し方・ 仮置場での分別について

災害により発生した家庭の片付けごみ等は、「仮置場」へ持ち込んでください。
 道路脇など、仮置場以外への排出はしないようお願いします。

■仮置場で受け入れるごみ
 家庭で災害により発生した以下のごみ

【持込できないごみ】
 事業所から出たごみ
 産業廃棄物
 生ごみなど日常の生活ごみ
 事業所の石綿が含有して飛散が疑われるもの

「分別」にご協力をお願いします。

注意事項

冷蔵庫の中に入っている食品等は、凍結・冷蔵条件のままに下せる
 バッテリー・タイヤ、危険なもの（消火器、ガスボンベ、灯油）は作業員の安全のため、
 ガラス片へ金釘などでケガを（？）より十分に注意して下さい。 (必ず分別して下さい)

被災して破損したものが対象です

場 所：城戸アグリ公園
 開設期間： / 月 15 日 まで
 開設時間： 9 : 00 ~ 16 : 00
 開設曜日：月 火 水 木 金 土 日
 可

- 仮置場のレイアウトは別紙を参照ください。
- 場内は一方通行です。
- 場内では、誘導員にしたがって決められた場所に置いてください。
- 円滑に作業を進めるため、ご協力をよろしくお願いします。

【問い合わせ先】 市 課 (電話)

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 仮置場設置状況

(レイアウト検討結果を重ね合わせ) >



<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 受入結果 (A班) >
 環境省マニュアルに示される 12 区分

	
<p>①可燃</p>	<p>②布団・カーペット</p>
	
<p>③瓦</p>	<p>④コンクリート</p>
	
<p>⑤木くず</p>	<p>⑥たたみ</p>
	
<p>⑦石膏ボード・スレート</p>	<p>⑧金属くず</p>

	
<p>⑨ガラス・陶磁器</p>	<p>⑩家電 4品目</p>
	
<p>⑪その他家電</p>	<p>⑫危険物・処理困難物</p>
	
<p>受け入れなかったごみ</p>	

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 受入結果 (B班) >

環境省マニュアルに示される 12 区分

	
<p>①可燃物</p>	<p>②布団・カーペット</p>
	
<p>③瓦</p>	<p>④コンクリートがら</p>
	
<p>⑤木くず</p>	<p>⑥畳</p>
	
<p>⑦石膏ボード・スレート</p>	<p>⑧金属くず</p>

	
<p>⑨家電4品目</p>	<p>⑩ガラス・陶磁器</p>
	
<p>⑪危険物・処理困難物電</p>	<p>⑫その他家電</p>
	
<p>受け入れなかったごみ(1)</p>	<p>受け入れなかったごみ(2)</p>

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 とりまとめ実施結果（A班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両側にごみを配置しない方がよい。横断すると危ない。追い抜き車線のみにする ・特に問題は無かった。自身が配置を覚えていなかったのが誘導が出来なかった ・搬入時は『Ⅱ（縦2列）』より『□（コの字）』の方がわかりやすい ・人員をできるだけ少なくする為に、市民に置く場所がひと目でわかるようにする ・可燃・不燃の大別で後で細かく分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応する者が同じ情報を共有できるようにマニュアルの作成が必要
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入する分別区分が分かりやすいようにコーンの色を変えた方がいいかも（搬出業者ごととか） ・誘導看板をもっと多く設置する必要があると思った 	
<p>【仮置場の設置】</p>	
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が荷下ろしするのに、右へ左へと移動するので後続車との誘導が難しいのではと感じた ・場所の確認に時間がかかった ・中央で荷下ろし車両を左右に停止させる ・フロントガラスに品目をかいたシートをおく 	
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付時にレイアウト図を持込者に渡す。図に持ち込みごみに○をつけてわかりやすくする ・コンビニみたく、複数に（混雑回避） ・搬入する側が何を積んでいるかわかっていると、荷下ろしがスムーズにいかないように感じた ・受付時の車両を並列駐車し（3台程）滞留させない ・現場の荷下ろし場所を図面で渡す ・受付に時間がかかる。人数が多い方が良い ・受付時にレイアウト図を渡しておいた方がよいと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付票での持込ごみをレイアウトに合わせて配列する ・受入れを断る物については、その理由をはっきり言えるように準備しておく ・受付に時間を要したので、スムーズに出来るよう改善が必要。2ルートに分けるとか、人を増やすとか ・受け入れ区分の認識の共有 ・受け入れ表の事前作成。地図入りとか… ・受け入れ不可のものの案内先の検討
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付の前さばきが必要 ・[受付→誘導] 現実には混乱する。慣れか？ ・受入品目の区分けが難しくまごついた。実際のケースなら不満がある利用者が出てくるだろう。課題が多かった ・業者と個人で別の受付にしてほしい（混雑するので） 	

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にごみの分別について共通認識が必要 ・[誘導] どこに置くのか分かるよう大きく (80mだと分かる?) ・クレームによるマニュアル作り ・各担当のチーフ、サブチーフが必要 ・トラブルに対応する人が何人か必要 ・受入が可能かどうか、その時の受付によって分かれてしまう。事前に洗い出しが必要 ・人員配置について、受付の人数がかなりいると思う 	

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 とりまとめ実施結果模造紙 (A班) >

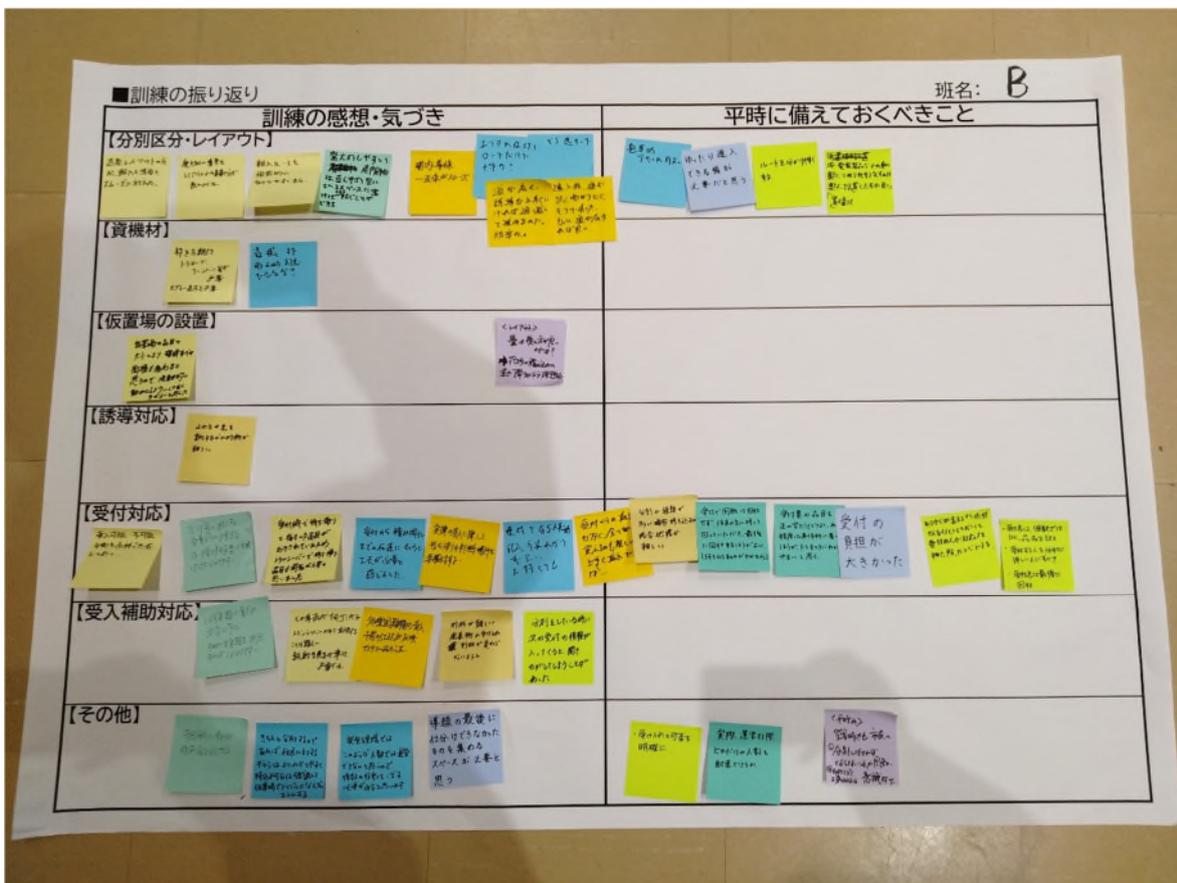


<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 とりまとめ実施結果（B班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線レイアウトの方が、搬入も誘導もスムーズに行える ・廃棄物の番号はレイアウトの順番の方が良いのでは ・搬入ルートを視覚的に分かりやすくする ・発火のしやすい危険物は、真ん中の空いているスペースに置けば火事を防ぐことができる ・場内導線は一直線がスムーズ ・エリアの仕切りロープだけで十分か？ ・入口から急カーブ ・遠くからだとレイアウトわかりにくい。表記大きくできる ・道が広く誘導もうまくいければ追い越して進めるのに。効率化 ・進入後、道が狭く曲がりにくそうであった。もっと道が広ければ良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったり進入できる幅が必要だと思う ・ルートを分かりやすくする ・電化製品などの車の奥につめられそうなものは、置場は奥に設置した方が良い
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枠を分離する。トラロープ、コーンバー等が必要。スプレー表示も必要 	
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畳は後の方が良いのでは？→荷物の積み込みの逆で降ろせたら理想的 	
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・止めるか先を案内するか判断が難しい 	
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入可能・不可能なものを全体で共有しておく ・受付票の搬入する廃棄物の種類は、降ろす順番で記載していたら分かりやすい ・受付時で持ち帰り指示した品目がおろされていたため、トランシーバーで持ち帰り品目も周知が必要と思いました ・受付から積み降ろしまでの伝達にもう少し工夫が必要と感じました ・実際の受入に際して、持ち帰りの判断場所を要検討する ・受付で並んだ時記入方法がわかりづらい。人多くても ・受付からの指示も多く、全てを覚えるのも難しい。うまく指示できれば… 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の種類が多い持ち込みの場合、把握が難しい ・受付で用紙は回収せず住民の方に持って回っていただき、最後に回収するほうがよい（何をおろすのかがわかるよう） ・受付票の品目を正の字だけでなく、ある程度は具体的に書くほうが、下ろすときにわかりやすいと思う ・受付の負担が大きかった ・あらかじめ番号を書いた付箋を用意しておいて、受付の人が対応する物に貼ったりなどする ・受付票は、個数ではなく品名を記入 ・受付する人を分別に詳しい人にすべき ・受付票は最後に回収
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12種類の案内の文字の下に、細かい種類も例示すれば分かりやすい ・どの車両が何ごみかとトランシーバーのみで実施することは難しい。紙的な表示が車に必要では 	

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ・処理困難物の受入、午前の仕訳が反映できてなかった ・判断が難しい廃棄物の受け入れ判断が変わらないように ・分別をしている時に次の受付の情報が入ってくると、聞き逃してしまうことがあった 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約制にすれば時間配分できる ・きちんと分別するのであれば、住民に対するチラシはよりわかりやすく持込不可分は強調して仮置場でトラブルにならないようにする ・発災現場ではこのような人数では運営できないと思うので、複数の役割をこなす必要があると思います ・導線の最後に仕分けできなかったものを集めるスペースが必要と思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れの可否を明確に ・実際運営する際どれだけの人数を配置できるか ・災害時でも市民へ、①分別しなければならないことの周知、②片付けゴミを受け入れること、意識付け

<兵庫県洲本市・南あわじ市・淡路市 とりまとめ実施結果模造紙（B班）>



(4) 和歌山県

団体	特 徴	
和歌山県	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県内の自治体のうち、県南部の自治体・一部事務組合（計 15 団体）職員、協定締結民間事業者（2 団体）及び和歌山県災害廃棄物処理支援要員が対象。 ・人口が少ない地域中心の対応として、仮置場の設置運営を行った。 ・複数の自治体で 1 つの班を構成し（計 4 班）、班ごとに訓練用の分別区分・レイアウトを決定した。 ・和歌山市を含む県南部の人口密集地域の自治体は、別途県発注業務において仮置場に加えて住民が搬入する集積所の設置・運営を行った。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理の基本についてオンラインで事前説明。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証した。 ・4 班に分かれて、仮置場のレイアウトを検討し、最終的に 2 つのレイアウトに絞り込んだ。 ・片付けごみの分別区分は環境省が想定する 12 区分とした。 ・発災時に住民に配布するチラシの内容を検討した。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・2 種類の仮置場を対象に設置運営訓練を行った。 ① A 班仮置場 約 1,600 m² ② B 班仮置場 約 2,200 m² ・運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用した。



開会あいさつ



事務局による訓練手順説明



廃棄物分別区分の検討 (A-1 班)



廃棄物分別区分の検討 (A-2 班)



廃棄物分別区分の検討 (B-1 班)



廃棄物分別区分の検討 (B-2 班)



仮置場のレイアウトの検討 (A-1 班)



仮置場のレイアウトの検討 (A-2 班)



仮置場のレイアウトの検討 (B-1 班)



仮置場のレイアウトの検討 (B-2 班)



住民広報チラシの検討 (A-1 班)



住民広報チラシの検討 (A-2 班)



住民広報チラシの検討 (B-1 班)



仮置場の設置状況 (A 班)



仮置場の設置状況 (B 班)



仮置場の搬入状況 (A 班)



仮置場の運営状況 (A 班)



仮置場の搬入状況 (B 班)



仮置場の運営状況 (B 班)



振り返り状況 (A-1 班)



振り返り状況 (A-2 班)



振り返り状況 (B-1 班)



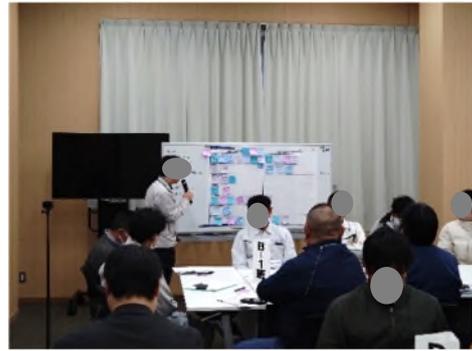
振り返り状況 (B-2 班)



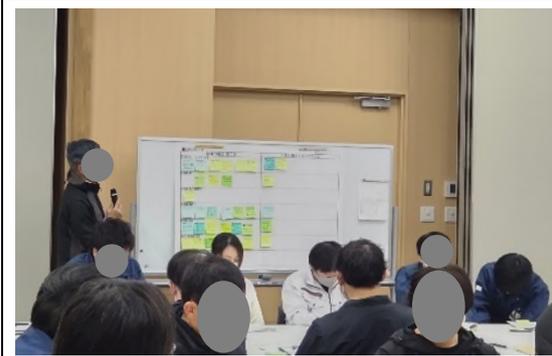
とりまとめ発表 (A-1 班)



とりまとめ発表 (A-2 班)



とりまとめ発表 (B-1 班)



とりまとめ発表 (B-2 班)



閉会

<和歌山県 廃棄物分別区分の検討結果 (A-1 班) >

ごみの分別区分の検討

班名: A-1

①可燃物	②木くず	③布団・カーペット	④畳	⑤ガラス・陶磁器くず	⑥瓦
⑦石膏ボード・スレート板	⑧コンクリートがら	⑨金属くず	⑩家電4品目	⑪その他家電	⑫危険物・処理困難物

<和歌山県 廃棄物分別区分の検討結果 (A-2 班) >

★A 班 採用分別区分

ごみの分別区分の検討

班名: A-2

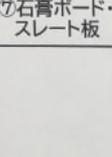
①可燃物	②木くず	③布団・カーペット	④畳	⑤ガラス・陶磁器くず	⑥瓦
⑦石膏ボード・スレート板	⑧コンクリートがら	⑨金属くず	⑩家電4品目	⑪その他家電	⑫危険物・処理困難物

<和歌山県 廃棄物分別区分の検討結果 (B-1 班) >

★B 班 採用分別区分

班名: B-1

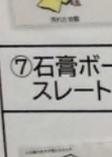
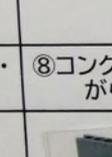
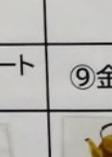
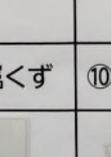
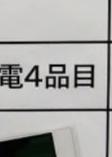
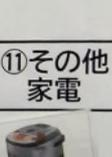
■ごみの分別区分の検討

①可燃物	②木くず	③布団・カーペット	④畳	⑤ガラス・陶磁器くず	⑥瓦
					
					

<和歌山県 廃棄物分別区分の検討結果 (B-2 班) >

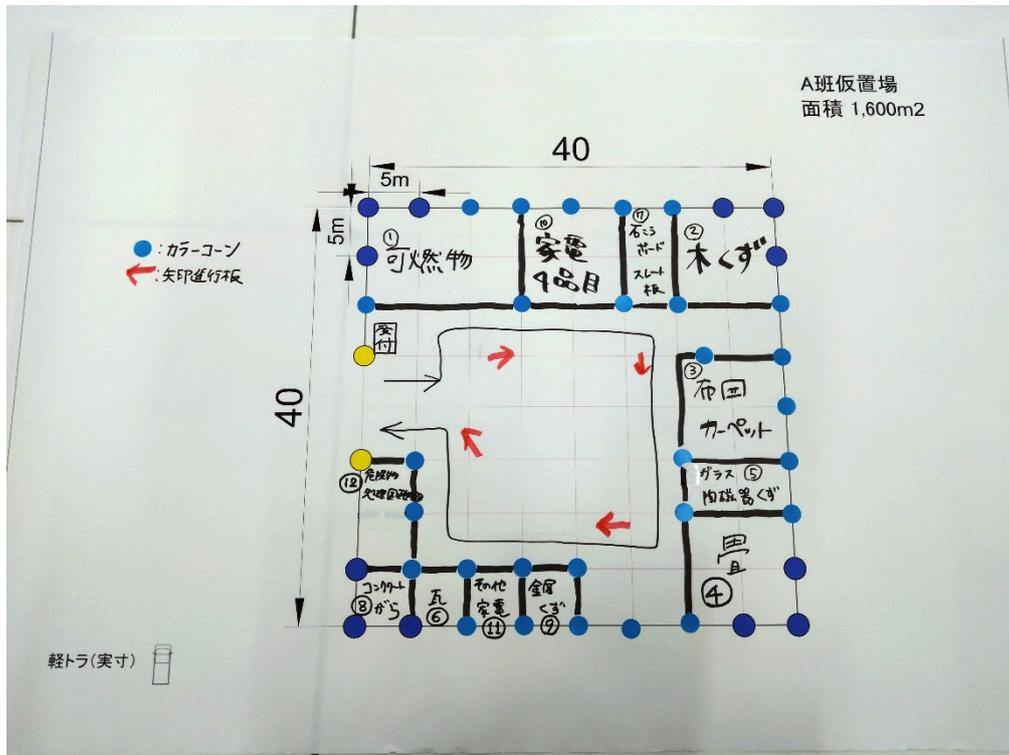
班名: B-2

■ごみの分別区分の検討

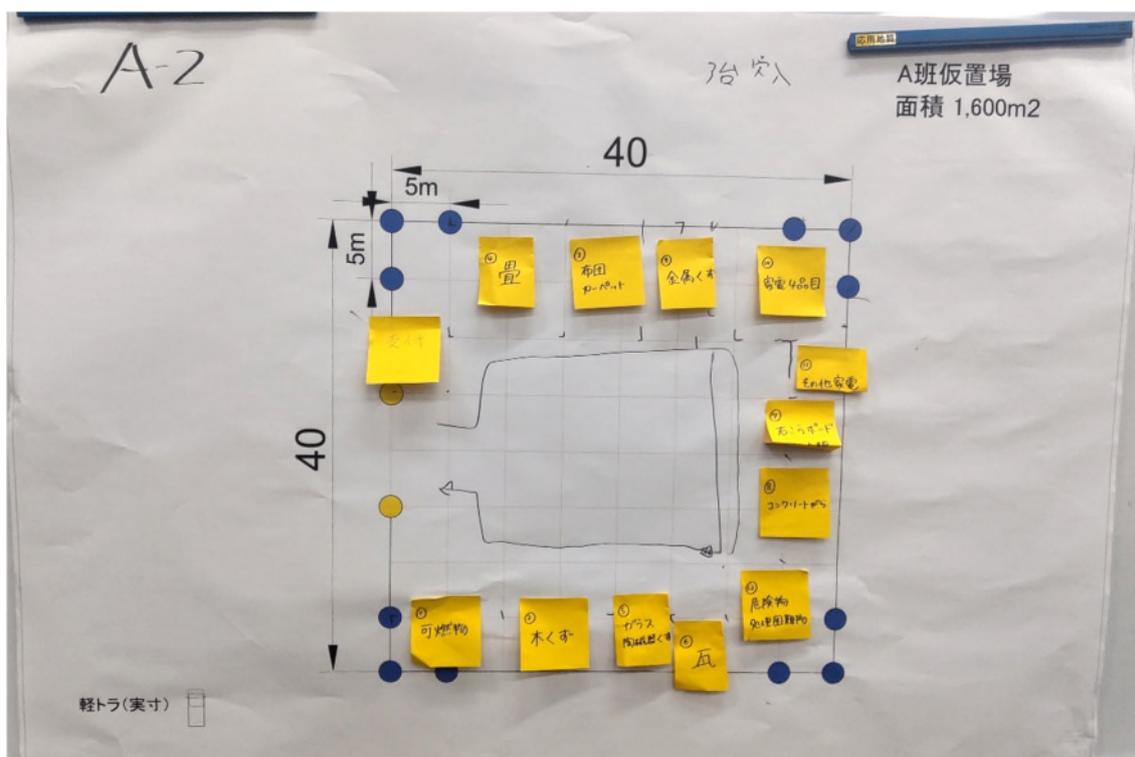
①可燃物	②木くず	③布団・カーペット	④畳	⑤ガラス・陶磁器くず	⑥瓦
					
					

<和歌山県 レイアウト検討結果 (A-1班)>

★A班採用レイアウト

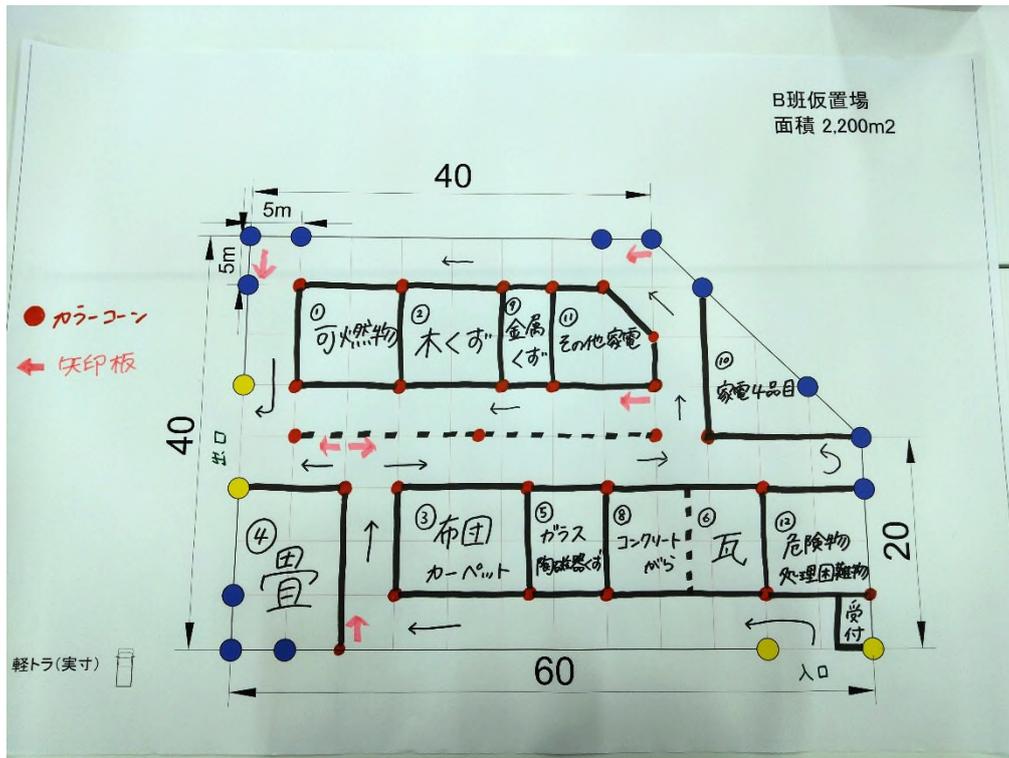


<和歌山県 レイアウト検討結果 (A-2班)>

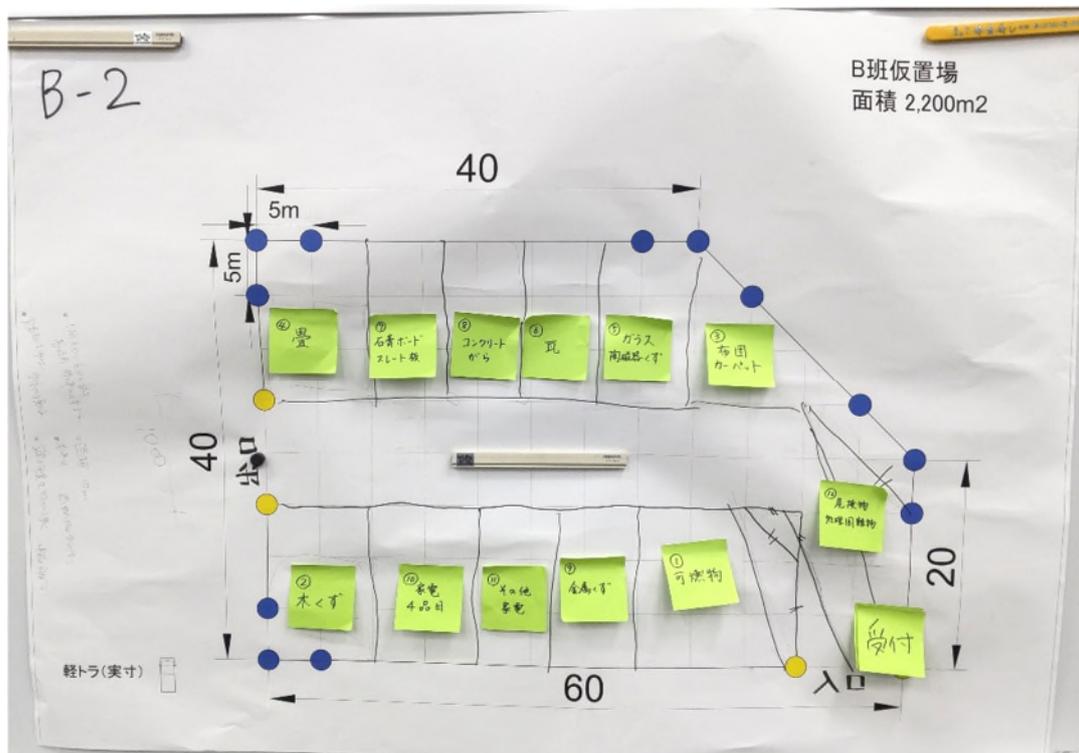


<和歌山県 レイアウト検討結果 (B-1班)>

★B班採用レイアウト



<和歌山県 レイアウト検討結果 (B-2班)>



<和歌山県 仮置場設置状況（レイアウト検討結果を重ね合わせ図）>



A-1
年 月 日

被災された方・ボランティアの皆様へのごお願い

災害により発生したごみの出し方・ 仮置場での分別について

災害により発生した家庭の片付けごみ等は、「仮置場」へ持ち込んでください。
道路脇など、仮置場以外への排出はしないようお願いいたします。

■仮置場で受け入れるごみ
家庭で災害により発生した以下のごみ

①可燃物	⑦石膏ボード・スレート板
②木くず	⑧コンクリートがら
③布団・カーペット	⑨金属くず
④畳	⑩家電 4 品目
⑤ガラス・陶磁器くず	⑪その他家電
⑥瓦	⑫危険物・処理困難物

【持込できないごみ】
一覽にないもの
 ブラウン管テレビ
 生ごみ
 大量の農作物
 土のう袋

「分別」にご協力
をお願いします。



注意事項

場 所：若もの広場
 開設期間： 月 日 まで
 開設時間： : ~ :
 開設曜日：月 火 水 木 金 土 日

- 仮置場のレイアウトは別紙を参照ください。
- 場内は一方通行です。
- 場内では、誘導員にしたがって決められた場所に置いてください。
- 円滑に作業を進めるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 市 課 (電話)

A-2

被災された方・ボランティアの皆様へのお願い

年 月 日

災害により発生したごみの出し方・ 仮置場での分別について

災害により発生した家庭の片付けごみ等は、「仮置場」へ持ち込んでください。
道路脇など、仮置場以外への排出はしないようお願いします。

■仮置場で受け入れるごみ
家庭で災害により発生した以下のごみ

①可燃物	⑦石膏ボード・スレート板
②木くず	⑧コンクリートがら
③布団・カーペット	⑨金属くず
④畳	⑩家電 4 品目
⑤ガラス・陶磁器くず	⑪その他家電
⑥瓦	⑫危険物・処理困難物

【持込できないごみ】
 野菜・生ごみ(農作物の殻等)

「分別」にご協力をお願いします。

注意事項

火室に閉鎖はごみ入れ可
 ごみの中、貴重品が無いか確認
 月皮装靴
 スプレー等穴空け

場 所：若もの広場
 開設期間： 月 日 まで
 開設時間： 7:00 ~ 17:00
 開設曜日：月 火 水 木 金 土 日

- 仮置場のレイアウトは別紙を参照ください。
- 場内は一方通行です。
- 場内では、誘導員にしたがって決められた場所に置いてください。
- 円滑に作業を進めるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 市 課 (電話)

<和歌山県 住民広報のチラシ検討 (B-1 班) >

※B-2 班は時間の関係で未実施

B-1

被災された方・ボランティアの皆様へのお願い

年 月 日

災害により発生したごみの出し方・ 仮置場での分別について

災害により発生した家庭の片付けごみ等は、「仮置場」へ持ち込んでください。
道路脇など、仮置場以外への排出はしないようお願いします。

■仮置場で受け入れるごみ
家庭で災害により発生した以下のごみ

①可燃物	⑦石膏ボード・スレート板
②木くず	⑧コンクリートがら
③布団・カーペット	⑨金属くず
④畳	⑩家電 4 品目
⑤ガラス・陶磁器くず	⑪其他家電
⑥瓦	⑫危険物・処理困難物

【持込できないごみ】

「分別」にご協力をお願いします。



注意事項

場 所：若もの広場
 開設期間： 月 日 まで
 開設時間： : ~ :
 開設曜日：月 火 水 木 金 土 日

- 仮置場のレイアウトは別紙を参照ください。
- 場内は一方通行です。
- 場内では、誘導員にしたがって決められた場所に置いてください。
- 円滑に作業を進めるため、ご協力をよろしくお願いします。

【問い合わせ先】 市 課 (電話)

<和歌山県 受入結果 (A班)>

<p>①可燃物</p>	<p>②木くず</p>
<p>③布団・カーペット</p>	<p>④畳</p>
<p>⑤ガラス・陶磁器くず</p>	<p>⑥瓦</p>
<p>⑦石膏ボード・スレート版</p>	<p>⑧コンクリートがら</p>

	
<p>⑨金属くず</p>	<p>⑩家電 4 品目</p>
	<p>なし</p>
<p>⑪その他家電</p>	<p>⑫危険物・処理困難物</p>
	
<p>受け入れなかったごみ</p>	<p>受け入れなかったごみ</p>

<和歌山県 受入結果 (B班)>

	
<p>①可燃物(1)</p>	<p>①可燃物(2)</p>
	
<p>②木くず(1)</p>	<p>②木くず(2)</p>
	
<p>③布団・カーペット(1)</p>	<p>③布団・カーペット(2)</p>
	
<p>④畳</p>	<p>⑤ガラス・陶磁器くず</p>



⑥瓦

なし

⑦石膏ボード・スレート版



⑧コンクリートがら



⑨金属くず(1)



⑨金属くず(2)



⑩家電4品目(1)



⑩家電4品目(2)



⑪その他家電(1)

	
<p>⑪ その他家電(2)</p>	<p>⑫ 危険物・処理困難物</p>
	
<p>受け入れなかったごみ(1)</p>	<p>受け入れなかったごみ(2)</p>
	
<p>受け入れなかったごみ(3)</p>	

<和歌山県 とりまとめ実施結果（A-1班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理困難物の受け入れについてもっと話し合う ・平時の分別とは異なる種別となっていたので、これはこの区分、とパッとわかりにくかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体で処理困難物の回収
<p>【資機材】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も対応できるような資機材の準備が必要
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の広さによってレイアウトが異なる。 ・A班の仮置場が狭い ・道幅が狭いと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場の候補地の確保
<p>【誘導対応】</p>	
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B班へ搬入役としてさせてもらった際に受付時に説明がなかったので「まずは〇番へ行ってください」など明確な指示を出す必要性を感じました。 ・受付時に受け取れない物の苦情 ・受付時に区分を判断することが難しかった ・受付時にトランシーバーでどう伝えるべきか難しかった ・雨だったので受付のテーブルに雨をしのげるテントなどがあればいいと思います。 ・導線がわかりやすいようにコーンに紐などを貼ればいいのではと思いました。 ・受付から「〇番に〇個はいります」と通信してもらえたので、自分の持ち区分かどうか事前にわかって助かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に搬入できるもののお知らせ ・事前に区分をもっと想定しておくべきだった ・事前の練習が必要だった ・受付のルールづくりが必要
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこまで手伝ったらいいかわからなかった 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付で持ち込み可否までいく A 班スタイルと、受付は最小限の各区分で判断する B 班スタイルとで、比較ができてよかった。 ・無線でのやり取りは、車の台数が多くなると混乱すると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の意思統一や連携体制の構築 ・「災害時はこうしてください」というアナウンスと周知がかなり大事だと思った ・非常用のみに使うなど用途を制限したほうがいい

<和歌山県 とりまとめ実施結果（A-2班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号順に並べたほうが住民はわかりやすい ・区切りの線があるとわかりやすいと思いました。（ポール・ロープなど） ・人員も今回ほど多くなくて良いと思う→事前にある程度決めておく ・2～3台なら問題ないと思うが、バッグが不要な順路にした方が安全 ・スペースの無駄が多い。→真ん中にごみを置く形にすれば？ ・分別区分の統一（職員間で） ・区分が細かすぎるのもっと大まかな区分でも良いと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成 ・レイアウトを事前に決めておくことでスムーズに開設できる ・現場受け入れを始める前に住民に持ち込めるものと駄目なものに周知が必要だと思った。前もって準備をしておく。
<p>【資機材】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラロープ、ポール
<p>【仮置場の設置】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の候補を多めに作っておくほうが良いと思う
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導対応でトラブルなしで案内したがB班では誘導するメンバーが次に回る置き場に備えていたのが早い対応に思えた。 	
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付時に口頭で証明したほうがスムーズ ・受付で時間がかかったので短くできる方法が必要 ・受付時のごみ分別チェックに時間がかかって場外に渋滞ができてしまう ・受付でどうしても時間がかかるので人員を増やしたほうが良いと思います。 ・Bの受付が簡単すぎてどこに何を搬入すればよいかわからなかった。 ・受付が混むので2か所にしてはどうか ・受付を2カ所ぐらいにした方がスムーズに流れると感じました。 	
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員が少なければ対応がしんどい。人員確保ができるか？ ・搬入する車両と荷物を現場と共有できればベスト ・雨の日は荷物も滑りやすいので防水の手袋が必須 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際は搬出車両もあるので広さが必要 ・人によって受け入れの可否が異なる→苦情につながる ・持ち込み可能ごみの周知 ・4～5人必要 	

<和歌山県 とりまとめ実施結果模造紙 (A-2 班) >

■訓練の振り返り		班名: A-2	
訓練の感想・気づき		平時に備えておくべきこと	
【分別区分・レイアウト】	<p>おもてなし 準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>区切りの様子 見守り 見守り 見守り 見守り</p> <p>大まかに分ける 準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>2-3階も問題なく 準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>スタッフも準備 準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>準備は 万全に 準備を 万全に</p>	<p>準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>準備は 万全に 準備を 万全に</p>	<p>準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>準備は 万全に 準備を 万全に</p> <p>準備は 万全に 準備を 万全に</p>
【資機材】			
【仮置場の設置】			
【誘導対応】			
【受付対応】			
【受け入れ補助対応】			
【その他】			

<和歌山県 とりまとめ実施結果（B-1班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトにはコーンだけでは導線がわかりにくかったのでロープやチェーンなどを付けてはどうか ・分別区分以外の仮置場設置も必要ではないか ・5mの道でUターンは無理があった ・受付をきっちりすると思ったより時間がかかるため、受付が二つあるレイアウトを考えてもいいかも ・入口、出口は1か所にまとまったほうが良いと思う ・車両の幅は10m程ほしい ・置き場の仕切り（ロープなど） ・進路を作る際にコーンだけでなく、コーンの間にロープが必要 ・道路幅の余裕（Uターン等の困難さ） ・レイアウトは良かったと思うがカラーコーンだけでは保管位置が分かりにくいと思った。 ・レイアウト中（特に距離の測定中）にコーンが手元からなくなるとかなりあり焦る。 →三角コーンだのみになってしまった。 ・降ろし忘れたものを再度降ろせるように（2週目） 	
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラロープで仕切る等区画をわかりやすくする方が良い ・コーンとコーンを結ぶトラロープが必要だと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトがわかりづらいため、コーンやロープなどの資機材が多めに準備しておいた方が良い ・車の移動経路に必要な分の敷き鉄板の確保 ・区分けを明示するためのロープ
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見せごみがあるとよい ・仮置場設置は大人数過ぎず、10人前後で設置するくらいが良いと思った。 ・事前に住民への説明をしておく必要がある。 	
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付で区分されていないと誘導が難しかった ・人員は実際時にはかけられるとよいが 	
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付対応は簡素にした方が良く思う ・受付対応では持ち込みの区分のチェックを複数名で行ったのでスムーズにできました ・搬入時の混雑緩和のためのチェックリストは必要なのか？ ・受付できっちり確認しすぎるのも手間がか 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこまで簡素化できるか、平時に検討必要

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>かりすぎるから問題かも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付に関しては人員の確保が難しいと思った 	
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入者本人に卸してもらおう ・搬入者の自覚（補助しすぎると搬入者の主体性が失われる） 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理困難物とは何かを説明 ・やっぱり災害ごみを段ボールで代用するというのは荷下ろしの練習にならないと思う。退蔵品でもいいので実動でやったほうがいかに運びにくいかがわかり、訓練になるのでは。 ・降ろし損ねた廃棄物があった場合、もう一度並びなおしてもらおうのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・県が開発した災害ごみ啓発グッズなどを使って日ごろから災害ごみの知識を知っておくことが大切だと思う。 ・分別の統一 ・受け入れ拒否した品物が意外と多かったから、その品物の対応をどうするかも考える必要があるかも

<和歌山県 とりまとめ実施結果模造紙（B-1班）>



<和歌山県 とりまとめ実施結果（B-2班）>

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の導線の設定が大切 ・通路幅がもう少し広いほうが良かったと思います。 ・車両班有する際に進行方向が混乱しないようにする方が良い ・車が続けて入ってきた場合、渋滞することになると思うので、受け入れ口を2カ所にするのがいいと思った。 ・大きくカーブするところが苦戦する車が多かった。 ・看板の番号が順不同で案内しても搬入者にとっては分かりにくいと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・平時にはレイアウトの構想を2、3案作成し、実践訓練を行うこと ・降ろす場所を搬入者にとってわかりやすくする工夫が必要
<p>【資機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白線のラインがけをすれば、少し早くなると思う ・コーンだけでは区切りがわかりづらいので、紐や杭を使うなどすると良いと思った ・道のカーブするところには鉄板を敷いたほうがいいかも 	<ul style="list-style-type: none"> ・発災後をイメージして、資機材を準備しておく必要がある
<p>【仮置場の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画を分けるロープ、白線があればと思います。 	
<p>【誘導対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランシーバー難しい（必要最低限？） ・ルート増えともっと人数が必要 ・軽トラ以外に1t車や2t車。搬入もあるので道の確保。 ・車両の導線の確保。Uターンのものは難しかった。 ・仮置場の位置がわかれば ・ごみの内容がわからないため、誘導がむずかしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でもできるようにペーパーを作っておく
<p>【受付対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混載の確認がむずかしい ・受付では確認をざっくり行うだけで十分かもしれないと思った ・住民が自らの廃棄物の内容も把握してほしい。そのために、場内用のチラシが必要かも ・車両数が増えると受付を複数設置する方が良い ・受付で手間取ると全体に影響があった ・車番ごみ置き場の番号をトランシーバーで伝えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ置き場のマップを来た人に渡す
<p>【受入補助対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを下す場所をスルーされることがあった ・受付で現場との意思疎通が難しい ・搬入した人も積み下ろしてもらわないと、積み下ろし損ねたものが出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブスはあったほうが分かりやすい

【訓練の感想・気づき】	【平時に備えておくべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ・今回受入の人数が多かった所以对応できたが、少ない場合、対応できるか不安 ・分別されるべき場所を通過していた。 ・受付で分別の番号をふってもらったほうが受け入れる際、わかりやすいと思った。リストで物の名前だけだと見づらかった 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の搬入はタイヤがスタックしてしまう可能性もありそうでした。 ・雨の影響で車両が多くなるとスタックする可能性があった 	

<和歌山県 とりまとめ実施結果模造紙 (B-2 班) >

■訓練の振り返り 班名: B-2

訓練の感想・気づき	平時に備えておくべきこと
<p>【分別区分・レイアウト】</p> <p>レイアウト 最初の号数 の番号の並び</p> <p>道路幅が 狭いので 車列の並び</p> <p>分別の番号が わかりにくい ので、色分け した。</p> <p>分別の番号が わかりにくい ので、色分け した。</p> <p>分別の番号が わかりにくい ので、色分け した。</p> <p>分別の番号が わかりにくい ので、色分け した。</p>	<p>分別の番号 の並びが わかりにくい ので、色分け した。</p> <p>分別の番号 の並びが わかりにくい ので、色分け した。</p>
<p>【資機材】</p> <p>資機材 の準備が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>資機材 の準備が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>資機材 の準備が できていない ので、事前に 確認する。</p>	<p>資機材 の準備が できていない ので、事前に 確認する。</p>
<p>【仮置場の設置】</p> <p>仮置場の 設置が できていない ので、事前に 確認する。</p>	
<p>【誘導対応】</p> <p>誘導の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>誘導の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>誘導の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>	<p>誘導の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>
<p>【受付対応】</p> <p>受付の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>受付の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>受付の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>	<p>受付の 対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>
<p>【受入補助対応】</p> <p>受入補助 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>受入補助 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p> <p>受入補助 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>	<p>受入補助 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>
<p>【その他】</p> <p>その他 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>	<p>その他 の対応が できていない ので、事前に 確認する。</p>

(5) 滋賀県 愛荘町

団体	特 徴	
滋賀県 愛荘町	全体方針： 【訓練内容】 仮置場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛荘町及び近隣自治体職員と災害協定を締結している廃棄物事業者が参加。 ・ 人口が少ない地域の対応として、仮置場の設置運営を行う。
	事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座を実施していたため未実施。
	屋内： グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードを用いて仮置場で受け入れる片付けごみの詳細な分別区分を班ごとに検証する。 ・ 2班に分かれて、仮置場のレイアウトを検討し最終的に1つのレイアウトに絞り込む。 ・ 分片付けごみの分別区分は環境省が想定する12区分とする。 ・ 発災時に住民に配布するチラシの内容を検討する。
	屋外： 仮置場設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮置場を対象に設置運営訓練を行う。 仮置場 約 1,600 m² ・ 運搬車両は参加事業者が所有する車両を使用する。

2026年3月3日（火）実施予定